

B&G は、時代の変化や地域のニーズに対応し
笑顔と元気を届ける新しい取組みを応援しています

B&G全国サミット B&G全国教育長会議

2019年度 報告書



御前崎クラブ (静岡県)



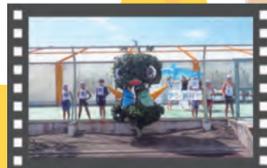
掛川市 (静岡県)



天城町 (鹿児島県)



小豆島町内海 (香川県)



御嵩町 (岐阜県)



池田クラブ (香川県)

2019年度
「B&G PR 大賞」
入賞作品



府中市 (広島県)



白岡市 (埼玉県)

第12回「B&G全国サミット」／第16回「B&G全国教育長会議」2019年度報告書

発行日 2020年3月28日 1,300部

編集・制作 公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団事業部
〒105-8480 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル9F
電話 03-6402-5310 (代) FAX 03-6402-5315
E-mail : center@bfg.or.jp https://www.bfg.or.jp/

◆ 第12回「B&G全国サミット」(2020.1.21)
地域力の向上に向けて
～環境・防災・コミュニティ～

◆ 第16回「B&G全国教育長会議」(2019.11.6～7)
これからの時代の生きる力を育む
～より効果的な学びを提供するために～

第12回 「B&G全国サミット」

2020.1.21 (火)

地域力の向上に向けて
～環境・防災・コミュニティ～

目次

第12回「B&G全国サミット」

第12回「B&G全国サミット」概要	2
主催者挨拶	4
特別基調講演『世界から見た日本』	5
オープニング ～復興の願いを込めて～	11
「B&G全国サミット」会長の選任 / 第16回「B&G 全国教育長会議」の報告	12
第4回「B&G全国指導者会 総会」の報告	13
パネルディスカッション「地域力を活かしたまちづくり」	14
B&G財団の取り組み	16
寄付金活動報告	19
第12回「B&G全国サミット」共同宣言	20
PR大賞 / 優良海洋センター表彰	21
海ごみ0 フェスティバル表彰	22
10年連続「特A」表彰を受賞して	23
「特A評価」海洋センター一覧	26
「A評価」海洋センター一覧	27
2018年度海洋センター評価について	28
レセプション / 特産品紹介ブース	29
出席市町村長一覧	30
第12回「B&G全国サミット」アンケート集計結果	42
第12回「B&G全国サミット」を終えて (正副会長、参加首長、副首長、教育長等の感想)	43

第16回「B&G全国教育長会議」

第16回「B&G全国教育長会議」概要	54
主催者挨拶	56
講演	57
教育長事例発表	59
文部科学省の取り組み	60
第16回「B&G全国教育長会議」提言	61
第16回「B&G全国教育長会議」アンケート集計結果	62
第16回「B&G全国教育長会議」を終えて (参加教育長の感想)	64

第12回「B&G全国サミット」概要

地域力の向上に向けて ～環境・防災・コミュニティ～

373 自治体から、248 名の首長をはじめ、副首長・教育長など 848 名が出席！

2020年1月21日(火)、東京都港区の笹川記念会館において「第12回 B&G全国サミット」を開催いたしました。海洋センターが所在する全388市町村のうち、45道府県、373市町村から248名の市町村長をはじめ、副市町村長、教育長など過去最多となる773名が出席。来賓、ポートルース関係各位、マスコミ各社を含めると、計848名の来場を数えました。

キーワードは「地域力」。魅力あるまちづくりの推進と不測の自然災害に備えよう

今回は、「地域力の向上に向けて ～環境・防災・コミュニティ～」をテーマに開催しました。

オープニングイベントとして、2019年10月に発生した台風15号・19号および大雨の影響により、床上浸水や停電、断水などの大きな被害を受けた自治体の一つ、栃木県那須烏山市に所在する烏山高等学校吹奏楽部の皆さんに、被災した各地の復興への願いを込めて、演奏いただきました。

続いて、日本財団 会長 笹川陽平様から「世界から見た日本」をテーマに基調講演をいただいた後、「B&G全国サミット」の会長を選任。岐阜県中津川市の青山市長を会長とした新体制が発足しました。

続いて、B&G全国教育長会議 会長 秋田県由利本荘市 佐々田教育長による第16回「B&G全国教育長会議」の報告を受け、同会議で提言された「変化に適応する『生きる力』の育成」について、サミットに参加の首長・教育長等の賛同を得たほか、B&G指導者へのご理解を深めていただくため、B&G全国指導者会 会長 青森県南部町 工藤町長にご登壇いただき、B&G全国指導者会の活動および第4回B&G全国指導者会総会についてご報告いただきました。

「地域力を活かしたまちづくり」と題したパネルディスカッションでは、長野県白馬村 下川村長、福井県大野市 石山市長、鹿児島県天城町 森田町長が登壇し、海洋センターをはじめとした地域資源を活かした環境・防災・コミュニティの取り組みを紹介しました。

さらに、今回新たに「地域力を活かしたまちづくり」を盛り込んだ「共同宣言」が採択されるなど、全国のB&Gネットワークの絆を深める会議となりました。

出席者の内訳

大別	区分	人数
海洋センター関係	首長	248名
	副首長	42名
	教育長	203名
	代理	32名
	随員	248名
その他	来賓	25名
	報道関係	50名
合計		848名

第12回「B&G全国サミット」次第

日時：2020年1月21日(火) 14:00～17:10
場所：笹川記念会館(東京都港区)

内 容	
オープニング 栃木県立烏山高等学校 吹奏楽部	
開 会	
【第一部】	
1. 主催者挨拶	B&G財団 会長 前田 康吉
2. 来賓紹介	
3. 特別基調講演 「世界から見た日本」	日本財団 会長 笹川 陽平 様
休 憩	
【第二部】	
4. 全国サミット会長の選任	
5. 第16回「B&G全国教育長会議」の報告	B&G全国教育長会議 会長 秋田県由利本荘市 教育長 佐々田 亨三 様
6. 第4回B&G全国指導者会総会の報告	B&G全国指導者会 会長 青森県南部町 町長 工藤 祐直 様
7. パネルディスカッション「地域力を活かしたまちづくり」	長野県白馬村 村長 下川 正剛 様 福井県大野市 市長 石山 志保 様 鹿児島県天城町 町長 森田 弘光 様
8. B&G財団の取組み	
9. 共同宣言	
【第三部】	
10. 2019 B&G PR大賞表彰	
11. 2019 海ゴミ0フェスティバル表彰	
12. 2018年度 優良海洋センター表彰	
レセプション	



848名もの皆様にご出席いただきました



烏山高校吹奏楽部によるオープニング演奏

主催者挨拶

「第12回 B & G 全国サミット」の開催にあたり

B&G財団 会長 前田 康吉



本日は、第12回「B&G全国サミット」を開催いたしましたところ、公務ご多忙のなか、全国388カ所の海洋センター所在自治体から、200名を超える市・町・村長をはじめ、副首長や教育長など、800名もの大変多くの皆様にご列席をいただきました。主催者を代表し心より厚くお礼申し上げます。

また、ご来賓として、日ごろからB&G財団に多大なご支援をいただいております日本財団をはじめ、ポータル関係団体のご代表にもご臨席を賜り、重ねて厚くお礼申し上げます。

はじめに、昨年は数多くの台風が日本列島に上陸し、大雨による河川氾濫や強風による長期の停電など、日本各地で甚大な被害がもたらされました。

被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地におかれましては、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

また、全国の「海洋センター」に対し、被災地支援を目的とした「支援金」のお願いをいたしましたところ、大変多くの皆様から貴重な浄財をお預かりいたしました。

改めまして、ご協力いただきました自治体・関係の皆様へ厚くお礼申し上げます。今後「支援金」は被災地と相談し、被災した子ども達の為の事業などに活用させていただきます。

さて、この「B&G全国サミット」は、1年に1度、市町村長、教育長の皆様などにお集まりいただき、B&G財団と自治体、また自治体相互での情報を共有し、未来を担う子ども達の健全育成をはじめ、地域の活性化・発展を目指し、連携を強化するための最重要会議でございます。

そのため、毎回、地方自治体が抱える、今日的課題や将来を見据えた問題などをテーマに開催し、各地の先進的取組みなどを共有しております。

今回のB&G全国サミットのテーマは、「地域力の向上にむけて ～環境・防災・コミュニティ～」といたしました。日本の豊かな自然環境は、地域の魅力であり、貴重な資源であります。しかし、今回の台風災害のように、いままでの常識があてはまらないことを認識し、未来志向で、自然との共存共栄を目指していかなければなりません。

会議では、市町村長からの様々な取組みなどを発表いただきB&G財団事業の説明も行わせていただきます。

また、今回も会議の開催に併せ、毎回皆様が大変楽しみにされておられます、日本財団会長の笹川陽平様による「世界から見た日本」と題した特別基調講演を頂きます。会議終了後には、皆様の情報交換の場として「交流会」を用意しておりますので、併せましてのご出席をお願い申し上げます。

おわりに、今後とも当財団は、全国の海洋センター関係者の皆さまと手を携え、地域の活性化や、人づくりに邁進してまいります。どうぞ本日もご出席の皆様には、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



特別基調講演

「世界から見た日本」

日本財団 会長 笹川 陽平 様



多くの皆さまにお集まりいただきありがとうございます。

B & G 財団は、前田康吉会長を中心として非常に団結力があり、意思疎通がしっかりとされている全国組織であると思います。このような組織というのは大変稀なことで、特に現場でご活躍いただいている皆さま方には心より敬意を表します。

今日の日本の社会的な課題の原点というのは、恐らく現場である皆さま方の市町村にあると思います。本当は現地でご活躍する皆さま方のお話をお伺いし、直接的にお手伝いさせていただくことが最も効率的でもあり、効果的であると思います。しかしながら時間の都合もありますので、皆さまが抱えていらっしゃる様々な課題につきましては、勿論、全て採用することはできませんが、B & G 財団や日本財団に直接お話をいただければと思います。特に、社会課題である子どもの貧困問題についてはB & G 財団が率先して行っておりますので、ぜひご相談ください。

さて、日本財団では毎月、18歳を対象とした世論調査を行っていますが、その若者が考える最大の課題は、子どもの貧困問題だという答えが60パーセント以上で第1位を占めておりました。本当に、聞けば聞くほど悲惨な状況が現実に現場で起こっているのです。

B & G 財団でも「第3の居場所(貧困家庭の子供を対象とした居場所づくり)」事業に取り組んでいますが、これは異世代間の交流を大事にしています。しかしながら特に都市部では既にコミュニティが崩壊し、おじいさんおばあさん、あるいは大学生と小学生との付き合いという縦のつながりが欠落した時代になってきています。またお母さん方にとってはわが子が大事であって、他人の子に対しては興味をほとんど示しません。長く日本では「子どもは社会の宝」といわれてきました。ですから本来ならば地域のおじいさんおばあさんが、あそこの家の子どもはどうなっているかなど、少し異変があれば気が付くわけですが、わが子以外に興味を示さなくなると悲惨な例もいろいろと出てくるのです。日本財団はこれからの未来を背負う子どもたち、若者のために、ひと働きをさせていただきたいと願っておりますので、どうぞ遠慮なくご要望をお寄せいただきたいと思っております。

また、先ほど前田会長からお話がありましたように、昔は東京や千葉を直撃する台風などはめったに起こらなかったのですが、災害に想定外という言葉が通じない時代になってまいりました。災害への対応としてB & G 財団からは、海洋センターを避難所や防災の拠点として活用することは勿論ですが、海洋性レクリエーションの指導だけでなく、災害時にも対応できる指導者を養成して欲しいとの要望をいただいております。

皆さま方の施設は、そのような意味で、時代の変遷と共に利用方法も多様化してきたと考えております。従いまして日本財団では皆さま方の多様なご要望にお応えしていくことが大きな仕事だと思っており、皆さま方から見るとちょっと付き合いにくいと思われるかもしれませんが、遠慮なく声を掛けていただきたいと思います。

さて、正月早々、私のところに大阪の方から1億2411万円も現金が段ボール箱で届きました。このような例は稀ですが、大変多くの方々からの寄付を頂いております。日本財団は1銭も経費にはお金を使いません。頂いたお金はそのまま子どもの貧困に使ってください、障害を持った子どものために使ってください、あるいは災害のために使ってくださいなど、ご要望とともにお金を頂戴しておりますので、その通りに使わせていただいています。後ほど、懇親会もあると聞いています。私もしばらくの間おりますので、名刺交換などをさせていただいて、親しく日本財団との関係を確立していただけたらと思っています。

今や中国の現代語は、ほとんど日本語が使われています。共産主義の文献は主にロシア語で書かれ、それを日本人が翻訳し、中国はそのまま使っているのです。私は昨年、中国の10の大学で学生を相手に講演してきましたが、「中華人民共和国という文字の中に日本語がいくつありますか」と聞いたら、みんな知らないのです。中華以外、人民も共和国も全部日本語です。「日本が嫌いな人はどうぞ自分の国の名前をまず変えたらどうでしょうか」と話すともみんな苦笑いしていました。中国の憲法で定められた国歌ですら、日本に留学していた中国人の23歳の青年が映画の主題歌としてつくり、それが今や中国の憲法に基づく国歌として演奏をされているわけです。

共産党とか共産主義とか、労働者、経営者、賃金、労働、利息、利率、芸術、文化、哲学、美術、全て日本語です。最近、中国も物理や化学、医学も発達してきましたが、ほとんど日本語です。にもかかわらず、なぜ日本の元号だけが2000年も前の中国の古典からとらなければいけないのかという私の単純な考えを1月4日の産経新聞で書き、大化から平成まで全て中国の古典から決められています、日本の古書から決めるべきだと主張しました。確かにそうだ、日本の古書からとるべきだということになり、国文学者の中西進先生の発案で、素晴らしい元号「令和」になったのです。

これほど元号が国民的な話題を呼んだ例はありません。中国政府も何ら文句を言う筋合いもありませんから、令和の御代になったわけです。そして、宮中で生前退位に向けた多くの儀式が行われたことは、ご出席された方もいらっしゃるでしょうしテレビでご覧になった方も多いと思います。

さて、私の知人の麻生太郎さんは、かつてイギリスの大学に留学された素晴らしいジェントルマンですが、あちこちで講演され、本当におもしろい話をされるので、時々言いすぎてたたかれることがあります。先日も、「日本は一つの民族である」と言っただけでたたかれました。「一つの民族のようなものだ」と言えばどうということはないのでしょうか。

森喜朗元首相は、「日本は神の国だ」と言っただけで新聞にたたかれて辞めざるを得なくなりました。こちらも「神の国」ではなく「神々の国」と言えば、多神教の国ですから問題はなかったわけです。このように話の全体ではなく政治家の発言の一言をとっておとしめるという変な社会になってきました。これは言論の自由でなく、人々の発言を制約し、言論を威圧する報道になってきており、大変残念なことです。

先程申し上げた天皇の生前退位に向けたさまざまな宮中儀式には、世界中から多くの方が参加されました。2000年もの長きにわたり、ほぼ単一民族で独立を維持してきた国というのは世界にはありません。ヨーロッパに王室はたくさんありますが、400年ぐらいのものです。それではなぜ、日本は長く続けてこられたのでしょうか。

日本の天皇家は、財産を持たず、商売をなさらず、権限をお持ちにならない世界でも大変珍しい存在な

のです。そのような素晴らしい天皇家が連綿として続いてきましたが、最近では、女性天皇の議論も出てきています。議論ですのでそれはそれでいいのですが、英国の憲政学者のウォルター・バジヨットという人は、100年も前の本で「国家の運営にあたっては、権威と権限が別々であることが望ましい姿だ」と言っています。このような国は世界中で日本以外にはないのです。源頼朝でも、征夷大將軍にはなりましたが、天皇になろうとはしませんでした。家康しかり、秀吉しかりです。

中国では「易姓革命」といい、人民が皇帝を気に食わなくなると、社会的には認められない人々がグループを組んで軍勢を拡大する。そして戦いに勝つてどこの馬の骨か分からない人が皇帝になり、天下を取ることがあります。日本の場合にはこのようなことはなく、天皇家が連綿として続いており、このような点においても日本は本当に素晴らしい、奇跡的な存在であると外国から来た皆さま方が言われるのです。

『文明の衝突』というサミュエル・ハンティントンの名著では、世界には八大文明があると述べています。イスラム文明、キリスト教文明、中華文明などがありますが、この小さな日本列島が「日本文明」として世界の八大文明の一つとして学問的に組み込まれています。当初は中国の影響を受けましたが、その後、独自の文化として発展してきたのが日本であり、日本文明といっておかしくないのです。日本は韓国からの影響が大きく、韓国から人が流れてきたのではないかとおっしゃる方がいますが、これは大変な間違いなのです。

もちろん大和朝廷は国際都市でしたから、中国人も韓国人もいました。しかし、言語学の専門家に言わせると、韓国語が日本語になっている例は一言もないそうです。ということは、かつて韓国から人が流れてきて日本人になったという主張は全く成り立ちません。逆に今、韓国はこれだけ日本が嫌いだと言いながら頻りに日本語を使っており、韓国の新聞には、ハングルの中に漢字が入っています。

美しい緑に囲まれ、山々があり、四季が存在し、かつては「アイヌ」とか「クマソ」とかいろいろな方がいましたが、ほぼ単一民族の日本は世界から羨望的なのです。また現在は多くの方が日本を訪れていますが、これは決してオリンピックがあるからだけではなく、日本の文化や伝統に対する大きな尊敬の念や、好奇心もあるのです。

私たちは先人がつくり上げたこの素晴らしい日本国というなかで生まれ育ち、文化や伝統があまりにも日常生活の中に溶け込んでいるため、そのことに対してあまり評価をしないのです。伝統や文化のない国ほどそういうものを大切にしますが、家庭生活の中に美術があるという国は、世界で日本だけなのです。それを「用の美」といって民藝運動家の柳宗悦が提唱しました。世界中、美術品は壁に掛けたり、置物として置いたり鑑賞するだけです。ところが日本は茶碗しかり、鉄瓶しかり、美術品を生活の中で日常使っているのです。そのような国は日本だけです。他の国では、飾り物として飾るだけなのです。

近年の日本では、8万8000もある神社のなかで壊滅状態なところもあり、神官も居ないようなところも出てきています。歴史的なものが全国各地にあるにもかかわらず、それがいかに大切なものを私たちが気づいていないことは大変残念なことです。われわれの先祖が営々として築き上げてくれたこの日本国というものを、現代に生きる私たちが知らないということは大変残念なことです。特に本日お集まりの皆さま方の地域にも数多くの歴史的なものが存在すると思いますし、素晴らしい伝統や風習が残っているのではないのでしょうか。

そして一番困るのは、戦後もう74～5年が経ちますが、戦前のものは全て悪だ、戦後が新しく生まれた

日本だという認識です。世界の中でこのように歴史が中断した国というのは、実は日本だけなのです。

本当に戦前のものは全て悪かったのでしょうか。学校で教えるのは、極端な話では「江戸時代は封建時代」の四文字で終わりです。江戸文化があれだけ栄え、歌舞伎や浄瑠璃、俳句や川柳がある。最近、若い人は新聞を読まなくなりましたが、新聞の日曜版を見ると、どこの新聞でも和歌や詩歌、川柳が投稿されている。こんなレベルの高い国民が多数住んでいる国は日本以外にないのです。

私は決して復古主義者ではありません。もちろん戦争という激しい痛手を国民が受けたことは事実です。それはそれとして、連綿として続いてきた私たちの歴史というものがあり、そしてその中で活躍してきた偉人がたくさんいます。

日本財団には海外の大学を卒業してきた優秀な職員がたくさんいますが、日本の戦前の歴史はほとんど知りません。ですから、日本人としてのアイデンティティを持ってないのではないかといつも冷やかすわけです。今日をつくってくれた偉人というものをもう一度、われわれは子どもたちに教える必要があるのではないかと思うのです。

私どもの財団に入ってくるのは、数百人に1人ぐらいです。大体、世の中や人のために働きたいと言い開発経済を勉強してきます。「では、開発経済の世界的な権威者は誰ですか？」と問うと訳の分からない名前を言います。世界的に開発経済の権威者は、二宮尊徳なのです。ところが、今や二宮尊徳など誰も知りません。

また、国家公務員上級職の役人になるためには大変難しい試験がありますが、「役人とはどういう存在か、どのような形で国家や地方自治体に奉仕するのか」を学ぶ際に、江戸末期に活躍した新井白石が江戸に上がるとき、どのような態度で国家のために奉仕するのかということを『折たく柴の記』で、本当に涙が出るような名文章で記しています。このような文章を上級職になる人には読ませるべきなのではないかと思うのです。

外国の本を読むと勉強したような気がするものですが、とんでもないことです。数学においても、関孝和は、当時外国で微分積分が始まったときとほぼ同じ時期に、和算で微分積分をつくっています。日本地図を作成した伊能忠敬は、日本中をまわって複雑な海岸線をピタッと描きとめました。あの技術は世界的なものです。

そのような偉人たちの、私たちは子孫です。近代化のために慶応義塾をつくった福沢諭吉先生は『学問のすすめ』という本の中で、「常に世の中を改革していくためには、少数意見を採用しなさい」と書いています。誰もがよいと思うものはたいしたものではないことも多いのです。

この会場には、ボートの売上額を倍増し、できるだけ多くの皆さま方のところに収益を配分しようとしている小高幹雄（ボートレース振興会会長）さんという人がいます。この人は、人が反対することしかやりません。みんながよいと思うことはやらない、先を読んでいるわけです。

私は今、東京大学の先端技術研究所で周りとは異なる特殊な勉強しかしらない子どもたちを集めて「未来のエジソンプロジェクト」を5年間やっています。5年目の節目となる一昨日も、安田講堂で挨拶をしました。「君たち、変人と呼ばれた人、あるいは変わった人だと言われた人、手を挙げて下さい」と言うと、全員が

手を挙げました。変わった人が世の中を変えていくのです。

しかしながら、皆さまのご苦勞として、選挙で選ばれるためにはある程度、住民の方々が納得することをしなければいけないというつらいお立場であることは分かります。しかし、小林虎次郎（長岡藩藩士）の米百俵の話ではありませんが、飢餓に苦しむ中で雄藩から頂いたお米百俵を、村人みんながこれを食べたいと思っている中で、「いや、食っちゃならん。われわれの次の世代を背負う子どもたちのために教育の資金として、学校をつくろう」とした故事が今、世界的に有名になっているのです。日本がいかに教育に力を入れてきたか。資源もない国で、資源は人間だけなのです。

江戸時代には三百諸侯、国があり、小さいところは2万5000石ぐらいでしたが、どこの藩にも教育施設がありました。当時は、今のように地方交付金などないのです。それどころか、江戸幕府でインフラ整備をやるので、どこの藩は何人労働者を出せと命令され、そのような労働者まで出して、なおかつ各藩で素晴らしい教育を行い、各地で優秀な人物を輩出しているのです。

現在、長崎県の大村市に、日本財団が支援するので地元の偉人のマンガをつくってくださいと話しています。子どもたちにとって、自分たちの先祖に「こんなに立派な人がいた」ということは誇りになるのです。皆さま方のところにも多くの歴史に残る立派な人がいらっしゃると思います。どうぞそれぞれの地域のマンガ家に描かせてください。日本財団が喜んで協力させていただき、子どもたちに配布させていただきたいと思います。

最近、NHKなどでは東京に大地震などの大災害が起きたことを想定した番組を報道しています。帰宅難民の対処は大きな問題でした。どのようにして自宅に帰るのですか。革靴で10キロなんてとても歩けません。私は6歳の時に東京大空襲にあいましたが、2時間半の間に10万8000人殺されたとき、母親と私2人だけが町内で生き残りました。そんなに歩けるものではありません。また喉が渴いたら水がないのです。喉をかきむしらなければいけないのです。災害が起きたら、もちろん、老人や障害者、子どもなどの弱者の救済問題もありますが、自助努力でとにかく水だけ確保したら逃げない、じっとしているのが最高の方法なのです。ですが、そういう教え方はしていません。

東京には多くの高層ビルがあり、一つのビルに何千人もの人が働いています。昼間に災害が起きたらどうしますか？エレベーターが止まり、非常階段に何千人もの人が押し寄せ、階段を慌てて降ります。すると必ず誰かが転びます。後の人はどうなりますか？またげません。そしてみんな、圧死してしまうのです。ビルが二つに割れるなんていうことはほぼないわけです。ですので、原則としては広い場所に避難するのも良いでしょう。しかし、水だけ確保したら、よほどでない限り動いてはいけません。住宅地での対応は慌てずに水や毛布を持って、基本は自助努力でいつも災害を想定してどうすれば良いかは各自が考え家庭でも話し合っておく必要があります。

昨年も日本ではたくさん災害がありました。日本財団でも大阪、岡山、愛媛、広島、佐賀、千葉、そして東北地方など非常に広域な災害に対して、日本財団学生ボランティアセンターの学生さんたちを派遣しましたが、大変悲惨な状況になっております。しかし、日本の国は、災害の度にそれを乗り越え、今日の日本をつくってきました。

江戸の振袖火事（明暦の大火）というのは、今の山手線の内側全てが燃えるぐらいの悲惨な状況でした。

あちこちで煙が上がっている中で、すでに新しい建築の槌音が上がっている状況を見た外国人が、「日本人はなんと我慢強く、そして未来志向の人間なのだろうか」と絶賛したという記事もございます。

そのように、私たちのDNAの中には、世界から尊敬される、私たちが気付いてない、素晴らしい日本人としての血が流れているのです。よく知識人やメディアが悲観論しか書かないのは未来を見通すことができないからです。コラソン・アキノというフィリピンの女性の元大統領は、どうしても暗くなりがちな日本人に対して、いつも笑い話で「もっと明るく生きましょうよ、日本の人はお金があるのだから」とおっしゃっていました。

日本の新聞では、日本は良くない、政治家は良くないなど、悪いことばかり書きますが、こういう点が優れている、ということを全然書かないため、情報が伝わりにくいのです。中近東からアフリカ、あるいは南米の話まで広げると、皆さま方が普段読まれる新聞には載らない記事で、いかに日本を尊敬しているかという例がたくさんあるのです。

江戸時代でも3000万から3600万の人口でした。すぐに人口構造がどうとか、年寄りが増えて子どもの数が少ないとかと言い、できない、できないの話ばかりします。できない中でどのようにやっていくかが、われわれに与えられた使命ではないでしょうか。

われわれの先人がつくってきたこの日本。皆さん方は日本全国それぞれの地方で今、困難にぶち当たっていらっしやると思いますが、どうか悲観論ではなく、気持ちをひとつに情熱を持って、日本人としてのDNAを次の世代に伝えていくためにあらゆる努力をしようではありませんか。

日本財団は皆さま方のお手伝いをさせていただくことを心から願っております。ご清聴ありがとうございました。



オープニング ～復興の願いを込めて～

2019年度は台風15・19号および大雨の影響により、多くの海洋センター所在自治体で、床上浸水や停電、断水などの大きな被害を受けました。

そこで会議のオープニングとして栃木県烏山高等学校吹奏楽部の皆さんに、被災した各地の復興への願いを込めて、演奏を披露して頂きました。



烏山高校の演奏の様子

栃木県立烏山高等学校のある那須烏山市も、200棟を超える家屋の浸水、一時4000戸が断水、ソバ・イチゴなどの農作物に被害を受けました。



那須烏山市 川俣市長 挨拶

演奏を前に登壇した那須烏山市 川俣純子市長は、「今まで通りに戻れるか不安はありますが、若者が災害ゴミの片付けにボランティアとして協力してくれるなど、多くの方からお力をいただいています。そのおかげで私たちは明るく復興に向かおうとしています。高校生の演奏により、被災された皆様が笑顔を取り戻して、地元に戻って一緒に復興に力を尽くせるよう願っております。」と、再興に向けて気持ちを述べられました。

吹奏楽部部長の南川さんからは、「元気な曲なので、被災地の復興への願いを込めて演奏します。」

と明るい声で曲紹介がありました。力強い若人の演奏に会場の参加者はすっかり魅了されるとともに、圧倒的な若いエネルギーに、復興への意欲が湧いてきたという感想をいただきました。



熊本地震でのボランティアの様子



台風19号で被災した宮城県の様子

当日は、台風15・19号の被災状況と今年度までにB&G財団が行った支援活動の様子をスライドショーにて放映しました。

「B&G全国サミット」会長の選任

前任の会長である芦屋市 山中 前市長が2019年6月10日付で市長ご勇退のため、「B&G全国サミット」会長の選任が行われました。

会議規則に基づき、長年にわたり財団事業に積極的に取り組み、市内3カ所の海洋センターを有効活用している、現サミット副会長 中津川市 青山市長を、B&G財団から推薦し、当日参会の皆様の承諾をもって会長に就任されました。

B&G全国サミット正副会長
【任期：2021年1月21日まで】

会長 岐阜県中津川市 青山 節児 市長
副会長 大分県佐伯市 田中 利明 市長
副会長 千葉県鋸南町 白石 治和 町長
副会長 徳島県美波町 影治 信良 町長
副会長 北海道新篠津村 石塚 隆 村長



第16回「B&G全国教育長会議」の報告

11月6・7日に開催された第16回「B&G全国教育長会議」について、B&G全国教育長会議 会長 秋田県 由利本荘市 佐々田教育長からご報告いただきました。

今回は、全国45道府県から126名の教育長を含む159名が出席し、「これからの時代の生きる力を育む～より効果的な学びを提供するために～」をテーマに開催いたしました。

会議では、千代田区立麹町中学校 校長の工藤 勇一氏、東北大学 准教授の瀧 靖之氏による講演や、島根県浜田市・広島県東広島市・熊本県南阿蘇村の3自治体の教育長による事例発表等を行っていただきました。

子供たちの「生きる力」の育成を進める中、子供たちを取り巻く環境や社会は、加速度的に変化しており、子どもたちには、今後ますます変化する時代に適応した「生きる力」を習得させなければなりません。そのために、我々大人たちが子供たちの「生きる力」を育成していく、引き出していくことが、求められていることを改めて認識いたしました。

そこで、今回の教育長会議では、「変化に適応する生きる力の育成」を提言に追加。参加者全員が賛同いたしました。



「B&G全国教育長会議」提言

- 一. 自然体験活動を実践する「指導員の養成」と「B&G指導者会の設立」推進
- 一. 地域と学校との連携強化
- 一. 海洋性レクリエーション事業の推進
- 一. 親子・家族の絆の推進
- 一. 海洋センター・クラブの活用
- 一. 環境・防災・水辺の安全教育的推進
- 一. 全ての子供たちへの体験機会の提供
- 一. 誰もが参加できる海洋センター活動の推進
- 一. 海洋教育の積極的推進
- 一. **変化に適応する「生きる力」の育成 (新規追加)**

第4回「B&G全国指導者会 総会」の報告

2019年2月16・17日に開催された第4回「B&G全国指導者会 総会」について、B&G全国指導者会 会長 青森県 南部町 工藤町長から次のご報告いただきました。



総会には全国から604名の指導員が参加し、執行部から設立から10年のあゆみと、今後の活動などについて説明いたしました。

下記1～3の地域指導者会の設立、水辺の安全教室の実施、ブロック別指導員研修会への参加については、100%達成しました。

4つ目の自治体の枠を超えた連携については、全国のB&Gネットワークを活かして多くの自治体で取り入れられています。

5つ目のB&G指導員による被災地支援ボランティア活動については、がれき撤去のほか、熊本県玉名市岱明海洋センターの体育館に一旦支援物資を受け入れ、多くの指導員に協力いただき、そこから必要に応じ南阿蘇村にお届けするなどのボランティア活動をしました。

そして、今後3カ年の活動方針・活動目標を次のように定め周知いたしました。

B&G全国指導者会 設立から10年のあゆみ	
1. 地域指導者会の設立拡大	⇒100%設置達成
2. 水辺の安全教室の普及と実践	⇒100%実施達成
3. ブロック別指導員研修会の開催	⇒参加率100%達成
4. 自治体の枠を超えた連携活動	
5. B&G指導員による被災地ボランティア活動	
・2016年 熊本地震	
がれき撤去等 計4回 76センター126名参加	
・2018年 西日本豪雨支援事業(広島)	
中国ブロック内指導員 のべ39名参加	
・2019年 西日本豪雨支援事業(岡山)	
中国ブロック内指導員 のべ35名参加	

【活動方針】

未来を担う子供たちのために
地域にとどけよう 笑顔と元気

【活動目標】

- 一. 「自然体験活動」の実践
- 一. 地域指導者会の組織・活動の充実
- 一. 会員の資質向上を図る研修会等の開催と自己研鑽
- 一. 海洋センター利用者増と地域の活性化
- 一. 活動情報の発信
- 一. **災害時等における相互応援 (新規追加)**

全国指導者会として念願であった「地域指導者会」が全海洋センターに設置され、「水辺の安全教育」と、「自然体験活動の実践」を子供たちに提供できる「基盤」が整いました。

「水辺の安全教室」も全海洋センターで実施するまでになっております。今後は、活動目標の一つ目に記載の通り、プールなどで行っていた水辺の安全教室からステップアップし、自然フィールドに連れ出し、自然体験活動をさらに推進していきたいと考えています。

また、活動目標の一番下には、新たに災害時における相互応援という全国サミットの共同宣言と同様の文言を追加し、自然災害時に海洋センター所在市町村が被災した際は、可能な範囲で被災地域の復興に対する応援・協力をしようということが承認されました。

最後に、「海洋センター」と「指導者」は一体であり、施設を有効活用するためにも、B&Gの指導者養成研修会これからの地域を担う人材育成として捉え、3年に1度など計画的に指導者養成研修へ職員を派遣していただくようお願いいたしますとの依頼がありました。

パネルディスカッション「地域力を活かしたまちづくり」

近年わが国を襲った台風や水害のように、従来の常識を覆すような自然災害が頻発しております。日本の豊かな自然環境は地域の大きな魅力であり、貴重な資源です。今後長い視点で自然との共存を目指していくために、今回のパネルディスカッションのテーマは「地域力を活かしたまちづくり」とし、環境の観点から長野県白馬村、防災の観点から福井県大野市、コミュニティの観点から鹿児島県天城町の3自治体の首長様に発表をいただきました。



「環境」を活用し、グローバルな村づくりを展開

長野県白馬村 村長 下川 正剛 様



白馬村は登山やスキーを中心とした観光など、北アルプスの恵まれた山岳環境で発展してきた歴史を持っています。長野オリンピックの会場にも選ばれるなど、輝かしい過去もあります。しかしスキーブームの終焉と共に冬季に訪れるお客様が減少し、地域経済も厳しい状況を迎えていました。

状況打開のため、海外への積極的なプロモーションを行ったところ、良質なパウダースノーとスケールの大きな山並みが口コミで広がり、冬季の外国人観光客が増加。人口9千人に対して千人を超える外国人が飲食店や宿泊施設、スキーインストラクターなどとして働くまでになりました。多くの外国人はシーズンの終わりとともに母国に帰りますが、自ら起業するなどして通年で働く方も約300名います。

このような事情を背景に、村は2015年にマナー条例を制定。外国人住民との意見交換の場も設けました。さらに後継者不足の解消など持続可能な観光業を目指し、白馬高校に国際観光科を新設。村内でグローバル人材の育成に取り組むべく生徒を全国から集めています。

村内で唯一の中学校にはB&G体育館が併設されていますが、大規模補修を予定しています。これを機に外国語、山岳やスキーの文化、ホスピタリティなど地域特有の学びに取り組みればと考えております。



外国人住民推移



白馬高校の生徒による外国人へのインタビュー

防災訓練を通じて地域力のさらなる向上を

福井県大野市 市長 石山 志保 様



大野市では少子高齢化により消防団員の確保が難しくなる中、女性団員のみで編成された消防団「結の故郷女性分団」を結成。147名の応募者の中から85名を採用し、従前の15人と合わせ100名体制となりました。

女性消防団員の活動内容として、大野市総合防災訓練への参加や消防団操法大会の運営などが上げられます。「女性ならではの」という視点では、市内の幼稚園児に対して、防火紙芝居を披露などしており、女性消防団員は「地

域の役に立つために自分たちにできることは何か」ということを常に考え、試行錯誤しながら、今日に至っています。

防災での新たな取り組みとしては、防災と婚活の要素を併せ持たせた「結の防災キャンプ」を昨年6月に実施しました。廃校となった小学校を会場とし、テント宿泊など避難所生活にアウトドアを取り入れ、共同生活、共同作業を行うことで、参加者同士の連帯感、親密度が高まることにより、男女の出会いのきっかけとなりました。一風変わったレクリエーションとして好評を得るとともに、防災意識の向上にも一役買いました。

また昨年11月の総合防災訓練には住民、関係団体合わせて約1600人が参加し、自主防災会による外国人との避難訓練や、SNSを活用した避難状況報告訓練など、初動対応について確認しました。

防災訓練を契機に、地域防災力のさらなる向上と地域コミュニティの活性化につながればと願っています。



ゆい くに 結の故郷女性分団



結の防災キャンプでのテント設営の様子

あらゆる世代が集えるコミュニティの場へ

鹿児島県天城町 町長 森田 弘光 様



天城町では海洋センターの艇庫を活用し、赤ちゃんからおばあちゃんまで、幅広い世代からなる「地域コミュニティ」を活性化させるべく、多様な取り組みをしています。

まず「すべての人が集える艇庫に」をスローガンに、2018年に艇庫のリニューアルを実施しました。従来は平屋で無機質でしたが、スロープ付きの展望ウッドデッキの設置、テナントスペースの確保などを行いました。

改修の重点項目として、1階2階両方に多目的スペースを設置したことがあげられます。これにより海洋性レクリエーションにとどまらない活用が行われるようになり、利用快適度の向上につながり、海洋性レクリエーションを軸に幅広い体験活動を行う小学生対象の「海塾」や低年齢の子ども達を対象にした「ちびっ子B&Gフェスタ」も好評です。また、テナントスペースを活用し地元のママが切り盛りするカフェも展開されるようになりました。

様々な事業を通して多くの方にご来場いただき、改修前の2016年度には1091名だった利用者数が、2018年度実績として8531名にまで上昇。艇庫利用の人口比率で全国2位の表彰もいただくことができました。

多目的スペースを活用し利用者にワークショップを開催したり、他団体と共同して、艇庫前の砂浜を活用した砂浜ウォーキングを開催し「あらゆる世代が集える交流の場」となっています。

アイデア次第で、従来と異なる利用法ができます。些細な事でも、天城町にお問い合わせいただければ幸いです。



改修した天城町海洋センター艇庫



砂浜ウォーキングでの様子

B&G 財団の取り組み

B&G財団では、2015年度から2019年度にかけて5カ年計画、「青少年の健全育成推進計画」に基づき、各種事業を推進してまいりました。

青少年の健全育成推進計画（2015～2019）

- 目的：心身を鍛えこれからの時代を生き抜く力の育成
- 目標：①海洋センター利用者数 1250万人
②海洋性レクリエーション体験者数 100万人
③水辺の安全教室参加者数 10万人
④地域指導者会の設置 100%
⑤2020東京オリパラ出場選手 20人
- 実施内容：
 - ①「センター・クラブの活性化」
 - ▶ 地域コミュニティの再生モデル事業
 - ▶ 艇庫を活用した地域連携モデル事業
 - ▶ 避難所開設訓練と防災教室
 - ▶ 夏休み等子育て支援
 - ②「自然体験の推進」
 - ▶ 体験格差解消を目指す水辺の自然体験
 - ▶ 地元のお祭りと連携した海の日関連イベント
 - ▶ 体験から学ぶ海の仕事セミナー
 - ③「海洋教育の推進」
 - ▶ 海の安全と海の日を学ぶ教室
 - ▶ ギネス記録を目指す全国一斉事業
 - ▶ 水辺の安全教育と教員研修



2020年度からの3カ年に向けて

青少年の健全育成という目的に向け、2015～2019年度は地域コミュニティの活性化を通じて、各種事業を展開してきました。2020年度からは、各地域の高齢者や学生などの人材、自然環境や公共施設、福祉や教育プログラムなどの「地域力」を効果的に活用し、事業を展開していきます。

2020年度からの3カ年計画「地域力の活用計画」



全体を帆船に見立て、自治体や海洋センター、指導者、センター・クラブの活性化などの「青少年健全育成計画」、財団の根幹事業である指導者養成事業や海洋センター修繕助成事業などの各種事業を、船体・基盤として、新たに、「子ども」「環境」「防災」「高齢者」の帆をかかげるといったイメージです。

B&G財団は、自治体の皆様、海洋センター・海洋クラブ、指導者の皆様と、地域の要望や課題解決に向け、一緒に同じ船に乗り、航海を続けていきたいと考えます。

3年間の「活動方針・目的・目標」

- 活動方針
 - ▶ 子どもたちにバーチャルから本物の体験を提供
 - ▶ 貧困や障害等による体験格差の解消を促進
 - ▶ SDGs達成に向けた環境教育の推進
 - ▶ 拡大する自然災害に備えた自治体や地域住民との協力
 - ▶ 高齢者の生きがいを見出す事業の推進
- 目的
 - ▶ 自然体験を通じて「生きる力」を育む
 - ▶ 自然環境を守る心を育てる
 - ▶ 自然災害にくじけない地域の絆を創生
 - ▶ 「やりがい」を通じて高齢者の健康寿命を延ばす
- 目標
 - ▶ 海洋センター利用者：1250万人
 - ▶ 海洋性レクリエーション及び自然体験活動人数：100万人
 - ▶ 水辺の安全教室参加者：20万人
 - ▶ 困難な環境等の子ども支援：5万人

子ども 自然体験格差解消・子育て支援

- ①B&G財団は、休眠預金を活用した助成事業の、実施団体に採択されました。この財源・制度を活用し、障害児などの自然体験格差解消に向けた事業を推進します。
- ②生活困窮など困難を抱える子どもの居場所「第三の居場所」の利用児童を対象に、沖縄での3泊4日の海洋体験を実施します。
- ③海洋センターに子ども食堂を開設し、世代間交流などを通じて高齢者の生きがいづくりも推進しながら、支援が必要な子どもや家庭への支援を行います。
- ④ひとり親や共働き家庭への子育て支援として、夏休みなどに、高齢者や学生ボランティアの協力のもと、宿題や体験活動を行う居場所を海洋センターに設置します。

環境 安全教育と環境教育

- ①海洋プラスチックごみなど、海洋ごみ問題の対策として、SDGsにも関連させた環境教育を推進します。
- ②東京の運河で、400艇のカヌー等で、運河のクリーン活動を行い、東京オリンピック・パラリンピックに向け、環境美化と東京・日本の魅力を発信します。
- ③全国で15,000人が参加する清掃活動を一齐開催し、海洋ごみ問題などの環境保全意識の向上を目指します。
- ④学校や地域と連携し、教員や保護者を対象とした研修などを通じて、水辺の安全教育を推進します。

防災 自然災害から命を守る防災教育

- ①被災地で様々な支援を行う、ボランティアの教育・育成、ボランティアの派遣事業を行います。
- ②簡易トイレなどの防災備品や、水害で活躍するゴムボートなどを配置した、防災拠点づくりを推進します。
- ③学校や地域と連携し、子どもたちへの防災教育を推進します。
- ④防災拠点の活用や、救助支援に関して、自治体と協定を結び、被災地支援を推進します。

高齢者 健康寿命の延伸と生きがいづくり

- ①医療機関と連携し、運動プログラムの開発や、予防医療、リハビリ施設として、海洋センターの活用を推進します。
- ②中高年の知見や潜在能力を活かし、子ども対象事業への参画や、通学の見守り活動など、中高年の関わりを推進します。
- ③テレビゲームを活用した運動、「eスポーツ」を通じ、高齢者と子どもの交流や、認知症予防、高齢者の居場所づくりを推進します。
- ④空き家や、空き公共施設を活用し、サテライトBG、第二の海洋センター設置を推進します。



寄付金活動報告

平成30年7月豪雨(西日本豪雨) 災害支援募金に全国から680万円の支援金

2019年8月25日(日)岡山県浅口市の三郎海岸にて、「平成30年7月豪雨」で被害を受けた地域の子どもたちや、その家族を応援することを目的に「がんばろう岡山! B&G海遊び・マリンスポーツ体験会」を開催しました。この事業は全国470カ所にあるB&G海洋センターなどから寄せられた支援金を活用して実施した被災地支援事業です。実施にあたっては、岡山県B&G地域海洋センター連絡協議会や中国ブロック内の地域指導者会をはじめとするB&G全国指導者会から29人の指導者が駆けつけ、マリンスポーツ指導などの運営をサポート。当日は30度を超える気温の中、岡山県矢掛町と井原市から招待した子供や親子104人に、SUPやカヌー、バナナボートなどのマリンスポーツを楽しんでいただきました。



参加者の声

「いろんな種類のマリンスポーツが体験できて嬉しかった。またやりたい!」---4年生児童
「昨年の7月豪雨で自宅近くが水没しすごく怖い思いをした。当時はたいへんな事もあったが、今はこうしてイベントに参加できてよかった」---保護者



浮島からダイブ!



宝さがして景品ゲット!



お昼は浅口名物宇宙カレー

子供たちの体験格差解消のための募金

全国の海洋センターの利用者の方や、全国サミットなど財団事業にご参加いただいた皆様から子供たちの自然体験における「体験格差」解消のため、多くのご寄付をいただきました。2019年度は、都内のひとり親家庭の親子や児童養護施設の子供たち36組91人を招待した「若洲マリンスポーツ体験会」を実施いたしました。ひとり親家庭の保護者からは「ひとり親になってから、生活や時間に余裕がなくなり、子供にこんなステキな体験をさせてもらえて本当にありがとうございました」、児童養護施設のスタッフからは「施設でこういった貴重な体験をすることはありません。施設で休みに海や湖に連れていくことは勤務状況や子供の安全性などと考えると難しく、今まで実施することが出来ていませんでした」などの声寄せられました。



B&G財団では全国の海洋センター所在自治体と連携し、これからも寄付金を募り、障害児、児童養護施設やひとり親家庭など、自然体験の機会に恵まれない子供たちに活動の場を提供してまいります。



夏の風が涼しく感じたボート遊覧



親子で力を合わせてカヌー体験



勇気を出して海へダイブ!

「B&G全国サミット」 共同宣言

今年で12回目を迎えた「B&G全国サミット」。過去最多の出席者数を数えた本会議では、地域の資源を活かして自治体を活性化させるとともに、近年多発する自然災害に備え、地域住民との連携を深めていくこと共同宣言が新たに追加されました。

- 一. 海洋センターとの連携
- 一. 施設の運営と管理
- 一. 積極的な事業の推進
- 一. 情報・ノウハウの共有
- 一. 環境・防災・水辺の安全教育の推進
- 一. 「東日本大震災」の復旧・復興
- 一. 災害時等における相互応援
- 一. オリジナリティを生かした魅力ある地域づくり
- 一. より強固な連携体制の確立
- 一. 誰もが輝ける地域づくり

第12回

一. 地域力を活かしたまちづくり

海洋センターをはじめ、様々な地域資源を有効活用し、魅力あるまちづくりを推進するとともに、地域住民の知識・連携を深め、不測の自然災害等に備えよう。

2020年1月21日
海洋センター所在市町村長一同



PR 大賞

B&G財団では、2015年度から、全国388自治体に所在する海洋センター・海洋クラブの魅力を発信するため広報活動のコンテスト「B&G PR大賞」を実施。各自治体が取組む広報活動の「見える化」を図っています。

2019年度の同コンテストでは、海洋センターをPRする20秒程度の動画「おいでよ！海洋センターの部」、施設を装飾した写真と利用者の感想を募集した「おもてなしの部」などを募集。全国から3,775点の応募があり、メディア関係者と有識者による審査委員会で最優秀賞と優秀賞が決定しました。

B&G全国サミットでは、その中から最優秀賞を受賞した自治体に対し、表彰状と記念品を贈呈。壇上では女優で画家の、B&G財団評議員 岸ユキ 審査委員長がプレゼンターを務め、「おいでよ！海洋センターの部」では静岡県B&G御前崎海洋クラブ、「おもてなしの部」では埼玉県白岡市B&G海洋センターを表彰しました。



優良海洋センター表彰

B&G財団では、全国470カ所にある海洋センターの現状を把握し、効率的な支援を行うため、年度毎に海洋センターを「特A」から「E」までの6段階で評価を行っています。

2018年度評価（2018年度の活動に基づく評価）において、「特A」評価を獲得した306カ所、「A」評価84カ所を表彰しました。

今回新たに10年連続で「特A」評価を獲得した24自治体の代表にご登壇いただき、表彰状を授与させていただきました。



10年連続で「特A」評価を獲得した自治体には特大サイズのアンドリー君人形が贈られました

海ごみ0 フェスティバル表彰

海ごみ0フェスティバルは、全国の海洋センター・海洋クラブ等において、水辺等でのクリーン活動を展開することにより、海レク活動と密接に関わる水辺の環境保全、特に海洋ごみに関する知識・意識の向上を図ることを目的に2019年度から実施しています。

実施期間は通年ですが、環境省と日本財団が展開している「海ごみ0ウィーク」が含まれる5月25日～6月9日までを強化期間として実施し、参加人数によりランキングを行いました。

2019年度は「海ごみ0ウィークの部」で大分県別府海洋クラブ、「通年(4～12月トータル)の部」で宮城県加美町中新田海洋センター、B&G賞として兵庫県南あわじ市南淡海洋センターを表彰いたしました。

表彰部門

- ★みんなでひろったでSHOW(ごみ0ウィーク人数) 大分県別府海洋クラブ
- ★みんなでひろったでSHOW(4月～12月トータル) 宮城県加美町中新田海洋センター
- ★B&G賞(ユニークな清掃活動など) 兵庫県南あわじ市南淡海洋センター



海ごみ0ウィークランキング

順位	道府県	センター名	ウィーク参加人数
1	大分	別府クラブ	2680
2	滋賀	多賀町	1881
3	千葉	大多喜町	1040
4	秋田	湯沢市	687
5	千葉	横芝光町横芝	630
6	福岡	宗像市玄海	570
7	滋賀	野洲市中主	550
8	兵庫	南あわじ市南淡	544
9	兵庫	芦屋市	476
10	大分	竹田市直入	410



通年(4～12月トータル)ランキング

順位	道府県	センター名	年間活動人数
1	宮城	加美町中新田	6400
2	大分	別府クラブ	2680
3	滋賀	多賀町	1881
4	山口	長門市日置	1480
5	兵庫	南あわじ市南淡	1322
6	千葉	大多喜町	1050
7	茨城	北茨城市	1000
8	福岡	築上町築城	860
9	福岡	築上町椎田	860
10	秋田	湯沢市	747

B&G賞〈兵庫県 南あわじ市南淡海洋センター〉

表彰理由

海ごみ0ウィークをはじめ年間に4回の環境保全事業を行っている。9月4日には、仮面ライダー新作映画の先行上映会に併せて海ごみ0フェスティバルを実施し482人が参加。ライダーから子供たちに“ごみ拾い”がヒーローになる第一歩だと話してもらい、ごみ拾いへの参加意欲を高めるなど、各回とも工夫を凝らしながら取り組んでいる。



ぜひ2020年度以降も、未来に海を残すために、引き続き海洋センター・海洋クラブで一致団結して取り組んでいきましょう。

10年連続「特A」表彰を受賞して



●北海道せたな町 町長 高橋 貞光様

この度、10年連続「特A」評価を賜り、当センターの活動が高く評価されたことを光栄に思います。これも、B & G 財団関係者の皆様をはじめ、日頃よりご支援・ご指導していただいた皆様に心より感謝申し上げます。これからも、今の現状に満足せず、青少年健全育成をはじめ、地域に愛される施設を目指して万進していきたいと考えていますので、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



●北海道鷹栖町 町長 谷 寿男様

この度、鷹栖町 B & G 海洋センターの活動が高く評価され、10年連続「特A」評価による表彰を賜りましたことは、B & G 財団や多くの関係者によるご指導による賜物と心より感謝申し上げます。今後も、海洋クラブや少年団活動などのスポーツ活動の拠点、町民の体力・健康づくりの場として、地域の皆様から愛されるセンター運営を行い、幅広い活動を展開してまいりますので、引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



●北海道愛別町 町長 前佛 秀幸様

この度は10年連続「特A」評価の表彰を賜り、誠に光栄に存じます。これも、B & G 財団関係者のご指導ご支援の賜物であり、B & G 海洋センターをご利用頂いている皆様のお蔭と心より感謝申し上げます。これからも、青少年の健全育成、スポーツ振興及び地域住民の健康づくりのために、多くの皆様にご利用頂けるように努めてまいります。引き続き、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



●北海道積丹町 町長 松井 秀紀様

この度、第12回「B & G 全国サミット」におきまして、積丹町 B & G 海洋センターのこれまでの活動が高く評価され、10年連続「特A評価」の表彰を授かりましたことは、誠に光栄であります。これも、前田会長様をはじめ、B & G 財団関係者の皆様のご指導ご支援・ご協力の賜物であると心より感謝申し上げます。今後も、更に活動の幅を広げ、地域に愛される施設運営に努めてまいります。



●北海道美幌町 町長 平野 浩司様

この度、栄えある10年連続「特A」評価を賜りましたことは、大変な名誉であり、誠に喜びに堪えません。これも、B & G 財団関係者の皆様のご指導、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。この栄誉を励みに、今後も青少年の健全育成やスポーツ振興の場として、皆様に親しまれ、愛される施設となるよう努めてまいりますので、関係者の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。



●岩手県久慈市 市長 遠藤 譲一様

この度の10年連続「特A」評価による表彰を獲得できましたこと、施設管理者であるNPO法人との良好な連携とともに、B & G 財団関係者の皆様のご支援・ご指導の賜物と、心より感謝申し上げます。今後もスポーツを通じた地域振興・活性化を担う拠点として、子供から大人まで幅広く愛される施設となるよう努めてまいりますので、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



●宮城県亶理町 町長 山田 周伸様

この度の全国サミットにおいて、亶理町 B & G 海洋センターが10年連続「特A」の表彰を賜りましたこと大変光栄に存じます。これも偏に B & G 財団関係者のご支援、ご指導の賜物と感謝申し上げます。今後も青少年健全育成や地域コミュニティの場として利用者の皆様に愛される B & G 海洋センターを目指す所存でございます。今後とも引き続きご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。



●宮城県川崎町 町長 小山 修作様

この度、B & G 全国サミットにおきまして、10年連続「特A」評価を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。当町 B & G 海洋センターがこうして受賞できましたのも、B & G 財団や関係者の皆様のご指導ご支援によるものであり、心より感謝申し上げます。今後とも、運動に親しむ習慣づくりやスポーツの振興に努め、地域コミュニティの拠点として愛される B & G 海洋センターを目指す所存でございますので、より一層のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



●千葉県鋸南町 町長 白石 治和 様

全国サミットにおきまして10年連続「特A」評価により表彰を賜りましたことは、B&G財団をはじめ多くの関係者の皆様のご指導の賜物と心より感謝申し上げます。また、昨年度の重なる災害に対しまして全国のB&G海洋センターから多くの励ましをいただきましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。スポーツ振興、地域住民のコミュニティの場として、センターの早期復旧に尽力してまいりますので、今後もご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



●新潟県胎内市 市長 井畑 明彦 様

この度、全国サミットにおきまして、10年連続「特A」評価による表彰を賜り、心より感謝申し上げます。当市B&G海洋センターは、B&G財団や関係者の皆様のご指導、ご支援のお陰をもちまして、多くの方々にご利用いただいております。これからも、青少年健全育成、スポーツ振興及び地域住民の健康づくりの場として、さらに多くの皆様にご利用していただく施設となるよう努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



●長野県松本市 市長 菅谷 昭 様

この度、10年連続「特A」評価による表彰を賜り大変光栄に存じます。これも財団関係者の皆様のご指導の賜物と心より感謝申し上げます。当センターは年間約7万5千人の利用があり、今後も青少年の健全育成と、地域住民の健康増進の場として皆様に愛されるセンターとなるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



●三重県熊野市 市長 河上 敏二 様

この度は10年連続「特A」評価による表彰を賜り、心より感謝申し上げます。紀和B&G海洋センターは、健康づくりやふれあい交流の場として市民の皆様にご利用いただいております。この表彰を励みに、さらに多くの皆様にご利用していただける施設となるよう一層努力してまいりますので、今後も引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



●兵庫県猪名川町 町長 福田 長治 様

この度の全国サミットにおきまして、猪名川町B&G海洋センターの活動が高く評価され、10年連続「特A」の評価を受賞できたことを心より感謝申し上げます。平成24年度には多額の助成金をいただき、プール施設の改修工事を行い翌年にはリニューアルオープンいたしました。今後も、青少年の健全育成や高齢者の健康増進を始めとし、住民の皆さんに愛される施設運営を目指してまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



●和歌山県串本町 町長 田嶋 勝正 様

この度、串本町B&G海洋センターの活動に対しまして、10年連続「特A」表彰をいただき、心より感謝申し上げます。また、当海洋センターの令和元年度大規模修繕に対しまして多額の助成金をいただき、深く感謝申し上げます。今後も青少年の健全育成と近隣住民の健康増進、スポーツ振興の拠点として多くの皆様に親しまれる施設を目指してまいりますので一層のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



●島根県江津市 市長 山下 修 様

この度は、B&G全国サミットにおきまして、10年連続「特A」評価の表彰を賜りましたことは、財団関係者皆様のご支援、ご指導の賜物であり、心より感謝申し上げます。当海洋センターは、これからも青少年の健全育成や住民の皆様の地域の拠点となるように努めてまいりますので、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



●島根県浜田市 市長 久保田 章市 様

この度、B&G全国サミットにおきまして、10年連続「特A」評価を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。当町B&G海洋センターがこうして受賞できましたのも、B&G財団や関係者の皆様のご指導とご支援によるものであり、心より感謝申し上げます。今後とも、運動に親しむ習慣づくりやスポーツの振興に努め、地域コミュニティの拠点として愛されるB&G海洋センターを目指す所存でございますので、より一層のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



●岡山県矢掛町 町長 山野 通彦 様

この度は、10年連続「特A」評価による表彰を賜り心より感謝申し上げます。また、平成30年7月豪雨の際にはB&G財団より多分のご支援を賜り、今年度の災害支援「マリンスポーツ体験会」では貴重な体験の機会をご提供いただきました。今後も青少年健全育成や地域コミュニティ拠点として愛される海洋センターを目指し活動等を展開していく所存です。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



●岡山県鏡野町 町長 山崎 親男 様

この度は、当海洋センターの活動が評価され、10年連続の「特A」評価を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。これも、B&G財団関係者の皆様方のご支援・ご指導のおかげであり、深く感謝と敬意を表するものであります。これからも、スポーツ振興や青少年健全育成、地域コミュニティなどの場として、地域の皆様に愛される施設を目指して、精進してまいりますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



●香川県小豆島町 町長 松本 篤 様

この度の10年連続「特A」評価の受賞は、B&G財団関係者の皆様のご指導、ご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。香川県小豆島にあります小豆島町内海B&G海洋センターは、青少年の健全育成から高齢者の健康増進に至るまで、まちの中核的な施設として施設運営を行っております。この度の受賞は、当センターが更なる飛躍を遂げる契機になると考えますので、今後ともご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



●高知県津野町 町長 池田 三男 様

この度、津野町東津野B&G海洋センターの10年連続「特A」評価の表彰を賜りましたことは、B&G財団関係者の皆様方のご指導・ご支援の賜物と心から感謝申し上げます。今後も青少年の健全育成、スポーツ振興に努め、特A評価に恥じぬ活動を続けてまいりますので、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。御礼のご挨拶といたします。



●福岡県朝倉市 市長 林 裕二 様

この度は朝倉市甘木B&G海洋センターの活動が高く評価され、10年連続「特A」評価を受賞できたことを大変光栄に思います。これも、B&G財団関係者の皆様のご支援・ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。より多くの方々に利用していただける施設を目指し、この評価を継続していきけるような活動を続けて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



●熊本県湯前町 町長 長谷 和人 様

湯前町B&G海洋センターが熊本県下で初の「10年連続表彰」をいただきましたことを大変うれしく思います。また、「特A」評価を継続できたのも、B&G財団関係者の皆さまのご指導とご支援によるものと深く感謝申し上げます。この度の表彰は、コミュニティの再生と地域の皆さまの居場所づくり、体験格差の解消など、地域の皆さまの理解とご尽力によって継続されてきたものが評価されたものと感じています。今後も地域に寄り添った海洋センター事業の実践とより質の高い体験機会の提供などを計画してまいりますので、みなさまのご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



●鹿児島県さつま町 町長 日高 政勝 様

この度は10年連続「特A」評価の表彰を賜りましたことは、B&G財団関係者皆様のご指導、ご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。今後も青少年の健全育成と地域住民の健康づくりの場として、更に多くの皆様から愛される施設を目指し努めて参りますので、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



●鹿児島県与論町 町長 山 元宗 様

この度は、全国サミットにおきまして10年連続「特A」の表彰を賜りましたことは、B&G財団関係者の皆様方のご支援、ご指導の賜物であり深く感謝申し上げます。当センターは、おかげさまで島内外の多くの利用者に親しまれると共に、青少年育成の場として活用しております。「東洋の海に浮かび輝く一個の真珠」与論島の海に親しむ場、海洋スポーツや地域コミュニティの場として更なる活動を展開していきたいと考えております。今後ともより一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

2018年度 優良海洋センター

■「特A評価」海洋センター 306カ所

No.ブロック	道府県	センター名	No.ブロック	道府県	センター名	No.ブロック	道府県	センター名																										
1	北海道	砂川市	67	東北	山形	133	中部	飯綱町牟礼																										
2		小平町	68		福島	舟形町		134	長野	飯島町																								
3		厚岸町	69			茨城		酒田市平田		135	岐阜	上松町																						
4		せたな町	70					栃木		柳津町		136	静岡	生坂村																				
5		剣淵町	71							群馬		小野町		137	愛知	飯綱町三水																		
6		大樹町	72									馬		塙町		138	三重	阿南町																
7		鷹栖町	73											東		田村市滝根		139	滋賀	松本市波田														
8		斜里町	74													埼玉		かすみがうら市千代田		140	近畿	可児市												
9		愛別町	75															千葉		小美玉市玉里		141	大阪	美郷町邑智										
10		遠別町	76																	青森		北茨城市		142	北陸	松江市宍道								
11		新篠津村	77																			岩手		行方市玉造		143	富山	松本市四賀						
12		大空町東藻琴	78																					宮城		石岡市		144	石川	雲南市加茂				
13		北竜町	79																							秋田		五霞町		145	福井	雲南市加茂		
14		東神楽町	80																									山梨		小美玉市小川		146	長野	美郷町邑智
15		名寄市風連	81																											新潟		常陸太田市水府		147
16		積丹町	82	富山			下野市国分寺																									148		静岡
17		名寄市	83		石川		鹿沼市粟野		149																							愛知		
18		和寒町	84			福井	那須烏山市南那須		150		三重																							
19		芦別市	85				新潟	芳賀町	151				滋賀																					
20		長万部町	86					富山	みなかみ町新治	152					近畿																			
21		上富良野町	87						山梨	明和町		153					大阪																	
22		東川町	88							長野		玉村町		154					兵庫															
23		美幌町	89									新潟		吉見町		155					京都													
24		大空町女満別	90											富山		嵐山町		156					大阪											
25		石狩市	91													石川		久喜市栗橋		157					北陸									
26		浦臼町	92															福井		松伏町		158					富山							
27		秩父別町	93																	新潟		白岡市		159					石川					
28		沼田町	94																			富山		いすみ市		160					福井			
29		横芝光町横芝	95																					新潟		御宿町		161					石川	
30		滝川市	96																							富山		横芝光町横芝		162				
31		古平町	97	新潟																								香取市小見川		163				長野
32	室蘭市	98	富山		大多喜町																							164		静岡		可児市		
33	弘前市	99			新潟	香取市栗源					165																	愛知				美郷町邑智		
34	平川市尾上	100				富山	成田市大栄				166		三重																			松江市宍道		
35	鶴田町	101					新潟	香取市山田			167				滋賀																	松本市波田		
36	南部町名川	102						富山	鋸南町		168						近畿															飯綱町牟礼		
37	平内町	103							新潟	横芝光町光	169								大阪													上松町		
38	六戸町	104								富山	胎内市中条	170									兵庫											生坂村		
39	弘前市岩木	105									新潟	佐渡市小木		171									京都									飯綱町三水		
40	山田町	106										富山		燕市		172									大阪							阿南町		
41	久慈市山形	107												新潟		上越市頸城		173									北陸					松本市波田		
42	一関市東山	108														富山		糸魚川市能生		174									石川			雲南市加茂		
43	岩泉町	109																新潟		新潟市中之口		175									福井	雲南市加茂		
44	洋野町種市	110																		富山		新潟市味方		176								長野	美郷町邑智	
45	八幡平市松尾	111																				新潟		新潟市新津		177							岐阜	
46	大船渡市三陸	112		富山																				佐渡市羽茂		178								静岡
47	奥州市前沢	113	富山																					砺波市		179				愛知				
48	一関市藤沢	114			富山																			南砺市福野		180		三重						
49	陸前高田市	115				富山							高岡市福岡											181		滋賀								
50	登米市中田	116					富山						富山市八尾		182									近畿										
51	亘理町	117						富山					穴水町		183		大阪																	
52	松島町	118							富山				七尾市		184				兵庫															
53	川崎町	119								富山			志賀町富来		185						京都													
54	大郷町	120									富山		白山市鶴来		186								大阪											
55	大崎町松山	121										富山	勝山市		187										北陸									
56	蔵王町	122											富山	あわら市金津	188												石川							
57	登米市迫	123												富山	大野市	189													福井					
58	加美町中新田	124													富山	坂井市春江		190													長野			
59	能代市	125														富山		坂井市丸岡		191												岐阜		
60	潟上市天王	126																富山		中央市玉穂		192											静岡	
61	男鹿市	127		富山																山梨市牧丘		193												愛知
62	由利本荘市西目	128	富山																	南アルプス市白根		194								三重				
63	由利本荘市大内	129			富山															甲斐市敷島		195						滋賀						
64	大仙市神岡	130				富山														甲斐市双葉		196				近畿								
65	由利本荘市由利	131					富山													甲州市塩山		197		大阪										
66	にかほ市象潟	132						富山									大町市			198		兵庫												
									富山								白馬村		199	京都														
										富山											大阪													
											富山												北陸											
												富山													石川									
													富山														福井							
														富山															長野					
															富山																岐阜			
																富山																静岡		
																	富山																愛知	
				富山																														三重
			富山																											滋賀				
					富山																							近畿						
						富山																				大阪								
							富山																	兵庫										
								富山														京都												
									富山											大阪														
										富山											北陸													
											富山												石川											
												富山													福井									
													富山														長野							
														富山															岐阜					
															富山																静岡			
																富山																愛知		
																	富山																三重	
				富山																														滋賀
			富山																											近畿				
					富山																							大阪						
						富山																				兵庫								
							富山																	京都										
								富山														大阪												
									富山											北陸														
										富山											石川													
											富山												福井											
												富山													長野									
													富山														岐阜							
														富山															静岡					
															富山																愛知			
																富山																三重		
																	富山																滋賀	
				富山																														近畿
			富山																											大阪				
					富山																							兵庫						
						富山																				京都								
							富山																	大阪										
								富山														北陸												
									富山											石川														
										富山											福井													
											富山												長野											
												富山													岐阜									
													富山														静岡							
														富山															愛知					
															富山																三重			
																富山																滋賀		
																	富山																近畿	
				富山																														大阪
			富山																											兵庫				
					富山																							京都						
						富山																				大阪								
							富山																	北陸										
								富山														石川												
									富山											福井														
										富山											長野													
											富山												岐阜											
												富山													静岡									
													富山														愛知							
														富山															三重					
															富山																滋賀			
																富山																近畿		
																	富山																大阪	
				富山																														兵庫
			富山																											京都				
					富山																							大阪						
						富山																				北陸								
							富山																	石川										
								富山														福井												
									富山											長野														
										富山											岐阜													
											富山												静岡											
												富山													愛知									
													富山														三重							
														富山															滋賀					
															富山																近畿			
																富山																大阪		
																	富山																兵庫	
				富山																														京都
			富山																											大阪				
					富山																							北陸						
						富山																				石川								
							富山																	福井										
								富山														長野												
									富山											岐阜														
										富山											静岡													
											富山												愛知											
												富山													三重									
													富山														滋賀							
														富山															近畿					
															富山																大阪			
																富山																兵庫		
																	富山																京都	
				富山																														大阪
			富山																											北陸				
					富山																							石川						
						富山																				福井								
							富山																	長野										
								富山														岐阜												
									富山											静岡														
										富山											愛知													
											富山												三重											
												富山													滋賀									
													富山														近畿							
														富山															大阪					
															富山																兵庫			
																富山																京都		
																	富山																大阪	
				富山																														北陸
			富山																											石川				
					富山																							福井						
						富山																				長野								
							富山																	岐阜										
								富山														静岡												
									富山											愛知														
										富山											三重													
											富山												滋賀											
												富山													近畿									
													富山														大阪							
														富山															兵庫					
															富山																京都			

2018年度海洋センター評価について

B&G財団では、全国の海洋センターの現状を把握し、効率的な支援を行うため、2003年度から「海洋センター評価」を実施しております。

この評価は年1度、各海洋センターから提出された運営状況資料等に基づき、「海洋センター利用者人数」、「財団事業の実施状況」、「B&G指導員の配置状況」など、総合的に査定し、決定するものです。

特に顕著な実績があり、良好な海洋センター運営が図られている優良海洋センターを「特A」「A」、続いて「B」「C」「D」「E」までの6段階に分けて「評価」しています。(各評価の内訳は下記グラフのとおり)

「評価」を導入した2003年度当時は、「特A」の海洋センターは滝川市の1センターのみでしたが、首長様をはじめ行政執行部の皆様のご理解・ご努力により2018年度評価では306センターへと大幅に向上しております。

一方、活性化が滞る2年連続「C・D」評価の海洋センターについては、B&G財団役員と首長様と協議を行い、今後の運営方針などをヒアリングさせていただいております。

なお、昨年までは「〇年4月度評価」として公表時期を付した評価名称としておりましたが、2018年度より評価期間の名称に変更いたしました。 ※下表参照

I 海洋センター評価 5か年の推移

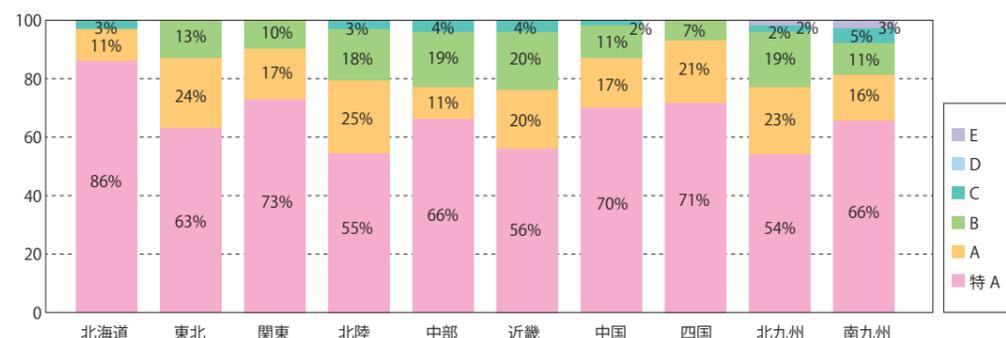
評価名	2015年 4月度評価	2016年 4月度評価	2017年 4月度評価	2018年 4月度評価	2018年度 評価
年度	2015	2016	2017	2018	2019
特A	215	242	274	281	306
A	118	118	104	87	84
B	107	93	77	85	63
C	19	12	8	8	11
D	6	0	1	3	0
E	2	2	2	2	2
廃止	8	8	9	9	10

II 2018年度評価の割合

評価名	2018年度評価	
年度	2019	割合
特A	306	63.8%
A	84	17.5%
B	63	13.1%
C	11	2.3%
D	0	0.0%
E	2	0.4%
廃止	10	2.1%

81.3%

III ブロック別 評価内訳



【総評】

Iからわかるように、前年度と比較して、「特A評価」・「A評価」の割合が昨年以上に増え、優良海洋センターが全体の81.3%を占めています。運営改善が必要なC・D評価の数は変わりませんが、D評価が0となっております。

またブロック別では、東北、関東、四国の3ブロックにはC評価以下が無く、全てB評価以上という結果になりました。

レセプション

会議後には、出席者の皆様の情報交換の場としてレセプションを開催しました。B&G財団評議員の谷川 真理 様の挨拶後、B&G財団理事の中村 真衣 様の乾杯で開会。10年連続特Aを獲得した市町による特産品紹介ブースを展示。各自治体の魅力や課題を情報交換できる、大変盛況なレセプションとなりました。



B&G財団評議員 谷川真理様による挨拶



B&G財団理事 中村真衣様による乾杯



試食コーナーも大盛況でした



笹川会長、PR大賞審査員長 岸ユキ様にもご参加いただきました



試飲コーナーも大盛況でした



各自治体の首長に地域の特産品をご紹介いただきました



会場では盛んに交流が行われていました

10年連続特A評価獲得 特産品ブース出展自治体の皆様 ご協力ありがとうございました!

北海道愛別町	北海道積丹町	北海道鷹栖町	北海道美幌町	岩手県久慈市
宮城県川崎町	宮城県亶理町	千葉県鋸南町	長野県松本市	三重県熊野市
島根県江津市	島根県浜田市	岡山県鏡野町	岡山県矢掛町	香川県小豆島町
高知県津野町	熊本県湯前町	鹿児島県さつま町	鹿児島県与論町	

本会議場前のロビーでも、特設PRブースを設置。また、表彰された優良海洋センター一覧が掲示され、多くの方が自身の自治体名を探して記念撮影をしていました。



ブースは多くの人でにぎわい、各自治体の魅力を伝えていました



優良海洋センター一覧を掲示

第12回「B&G全国サミット」ご出席市長村長

全国469海洋センターが所在する388市町村から248名の首長の皆様にご出席いただきました。

◆北海道ブロック



北海道 砂川市 市長
善岡 雅文 様



北海道 小平町 町長
関 次雄 様



北海道 厚岸町 町長
若狭 靖 様



北海道 せたな町 町長
高橋 貞光 様



北海道 剣淵町 町長
早坂 純夫 様



北海道 大樹町 町長
酒森 正人 様



北海道 鷹栖町 町長
谷 寿男 様



北海道 斜里町 町長
馬場 隆 様



北海道 遠別町 町長
笹川 洸志 様



北海道 新篠津村 村長
石塚 隆 様



北海道 大空町 町長
山下 英二 様



北海道 北竜町 町長
佐野 豊 様



北海道 枝幸町 町長
村上 守継 様



北海道 下川町 町長
谷 一之 様



北海道 東神楽町 町長
山本 進 様



北海道 名寄市 市長
加藤 剛士 様



北海道 積丹町 町長
松井 秀紀 様



北海道 芦別市 市長
荻原 貢 様



北海道 長万部町 町長
木幡 正志 様



北海道 上富良野町 町長
向山 富夫 様



北海道 東川町 町長
松岡 市郎 様



北海道 美幌町 町長
平野 浩司 様



北海道 石狩市 市長
加藤 龍幸 様



北海道 浦臼町 町長
斉藤 純雄 様



北海道 秋分町 町長
澁谷 信人 様



北海道 沼田町 町長
横山 茂 様



北海道 岩見沢市 市長
松野 哲 様



北海道 苫前町 町長
福士 敦朗 様



北海道 古平町 町長
貞村 英之 様



北海道 室蘭市 市長
青山 剛 様

◆東北ブロック



青森県 五所川原市 市長
佐々木 孝昌 様



青森県 平川市 市長
長尾 忠行 様



青森県 東北町 町長
蛭名 鉦治 様



青森県 鶴田町 町長
相川 正光 様



青森県 南部町 町長
工藤 祐直 様



青森県 平内町 町長
船橋 茂久 様



青森県 六戸町 町長
吉田 豊 様



岩手県 久慈市 市長
遠藤 譲一 様



岩手県 一関市 市長
勝部 修 様



岩手県 洋野町 町長
水上 信宏 様



岩手県 大槌町 町長
平野 公三 様



岩手県 大船渡市 市長
戸田 公明 様



岩手県 九戸村 村長
五枚橋 久夫 様



岩手県 普代村 村長
榎屋 伸夫 様



岩手県 花巻市 市長
上田 東一様



宮城県 涌谷町 町長
遠藤 稔雄様



宮城県 亶理町 町長
山田 周伸様



宮城県 川崎町 町長
小山 修作様



宮城県 蔵王町 町長
村上 英人様



宮城県 加美町 町長
猪股 洋文様



秋田県 にかほ市 市長
市川 雄次様



秋田県 潟上市 市長
藤原 一成様



秋田県 男鹿市 市長
菅原 広二様



秋田県 横手市 市長
高橋 大様



秋田県 由利本荘市 市長
長谷部 誠様



秋田県 八郎潟町 町長
畠山 菊夫様



秋田県 三種町 町長
田川 政幸様



秋田県 大潟村 村長
高橋 浩人様



福島県 柳津町 町長
小林 功様



福島県 石川町 町長
塩田 金次郎様



福島県 小野町 町長
大和田 昭様



福島県 塙町 町長
宮田 秀利様



福島県 田村市 市長
本田 仁一様

◆関東ブロック



茨城県 八千代町 町長
谷中 聡様



茨城県 石岡市 市長
今泉 文彦様



茨城県 五霞町 町長
染谷 森雄様



栃木県 那須烏山市 市長
川俣 純子様



栃木県 芳賀町 町長
見目 匡様



群馬県 みなかみ町 町長
鬼頭 春二様



群馬県 明和町 町長
富塚 基輔様



埼玉県 吉見町 町長
宮崎 善雄様



埼玉県 深谷市 市長
小島 進様



埼玉県 幸手市 市長
木村 純夫様



埼玉県 神川町 町長
山崎 正弘様



埼玉県 嵐山町 町長
岩澤 勝様



埼玉県 久喜市 市長
梅田 修一様



埼玉県 松伏町 町長
鈴木 勝様



埼玉県 白岡市 市長
小島 卓様



千葉県 いすみ市 市長
太田 洋様



千葉県 御宿町 町長
石田 義廣様



千葉県 長南町 町長
平野 貞夫様



千葉県 成田市 市長
小泉 一成様



千葉県 香取市 市長
宇井 成一様



千葉県 鋸南町 町長
白石 治和様



千葉県 横芝光町 町長
佐藤 晴彦様

◆北陸ブロック



新潟県 胎内市 市長 井畑 明彦 様
 新潟県 南魚沼市 市長 林 茂男 様
 新潟県 佐渡市 市長 三浦 基裕 様
 新潟県 燕市 市長 鈴木 力 様
 新潟県 糸魚川市 市長 米田 徹 様
 富山県 南砺市 市長 田中 幹夫 様
 石川県 穴水町 町長 石川 宣雄 様
 石川県 七尾市 市長 不嶋 豊和 様
 石川県 白山市 市長 山田 憲昭 様
 福井県 永平寺町 町長 河合 永充 様
 福井県 越前町 町長 内藤 俊三 様
 福井県 勝山市 市長 山岸 正裕 様
 福井県 大野市 市長 石山 志保 様
 福井県 若狭町 町長 森下 裕 様

◆中部ブロック



山梨県 甲州市 市長 田辺 篤 様
 山梨県 中央市 市長 田中 久雄 様
 山梨県 南アルプス市 市長 金丸 一元 様
 山梨県 甲斐市 市長 保坂 武 様
 長野県 大町市 市長 牛越 徹 様
 長野県 富士見町 町長 名取 重治 様
 長野県 下條村 村長 金田 憲治 様
 長野県 白馬村 村長 下川 正剛 様
 長野県 飯綱町 町長 峯村 勝盛 様



長野県 飯島町 町長 下平 洋一 様
 長野県 長和町 町長 羽田 健一郎 様
 長野県 山形村 村長 本庄 利昭 様
 長野県 中野市 市長 池田 茂 様
 長野県 上松町 町長 大屋 誠 様
 長野県 生坂村 村長 藤澤 泰彦 様
 長野県 阿南町 町長 勝野 一成 様
 岐阜県 可児市 市長 富田 成輝 様
 岐阜県 高山市 市長 國島 芳明 様
 岐阜県 川辺町 町長 佐藤 光宏 様
 岐阜県 八百津町 町長 金子 政則 様
 岐阜県 中津川市 市長 青山 節児 様
 岐阜県 御嵩町 町長 渡邊 公夫 様
 岐阜県 富加町 町長 板津 徳次 様
 静岡県 掛川市 市長 松井 三郎 様
 静岡県 川根本町 町長 鈴木 敏夫 様
 静岡県 牧之原市 市長 杉本 基久雄 様
 愛知県 新城市 市長 穂積 亮次 様
 愛知県 東栄町 町長 村上 孝治 様
 愛知県 西尾市 市長 中村 健 様
 三重県 大台町 町長 大森 正信 様
 三重県 いなべ市 市長 日沖 靖 様
 三重県 菟野町 町長 柴田 孝之 様
 三重県 熊野市 市長 河上 敢二 様
 三重県 志摩市 市長 竹内 千尋 様

◆近畿ブロック



滋賀県 野洲市 市長
山仲 善彰 様



滋賀県 多賀町 町長
久保 久良 様



滋賀県 米原市 市長
平尾 道雄 様



滋賀県 長浜市 市長
藤井 勇治 様



滋賀県 高島市 市長
福井 正明 様



滋賀県 甲賀市 市長
岩永 裕貴 様



滋賀県 近江八幡市 市長
小西 理 様



京都府 南丹市 市長
西村 良平 様



京都府 和束町 町長
堀 忠雄 様



京都府 京丹波町 町長
太田 昇 様



大阪府 千早赤阪村 村長
松本 昌親 様



兵庫県 養父市 市長
広瀬 栄 様



兵庫県 香美町 町長
浜上 勇人 様



兵庫県 淡路市 市長
門 康彦 様



兵庫県 芦屋市 市長
伊藤 舞 様



奈良県 曾爾村 村長
芝田 秀数 様



和歌山県 串本町 町長
田嶋 勝正 様

◆中国ブロック



鳥取県 倉吉市 市長
石田 耕太郎 様



鳥取県 北栄町 町長
松本 昭夫 様



鳥取県 伯耆町 町長
森安 保 様



鳥取県 浜田市 市長
久保田 章市 様



鳥取県 西ノ島町 町長
升谷 健 様



鳥取県 雲南市 市長
速水 雄一 様



鳥取県 美郷町 町長
嘉戸 隆 様



岡山県 備前市 市長
田原 隆雄 様



岡山県 新見市 市長
池田 一二三 様



岡山県 井原市 市長
大舌 勲 様



岡山県 津山市 市長
谷口 圭三 様



岡山県 美作市 市長
萩原 誠司 様



岡山県 奈義町 町長
奥 正親 様



岡山県 和気町 町長
草加 信義 様



岡山県 矢掛町 町長
山野 通彦 様



岡山県 鏡野町 町長
山崎 親男 様



岡山県 赤松市 市長
友實 武則 様



広島県 府中市 市長
小野 申人 様



広島県 三次市 市長
福岡 誠志 様



広島県 三原市 市長
天満 祥典 様



広島県 東広島市 市長
高垣 広徳 様



広島県 尾道市 市長
平谷 祐宏 様



広島県 呉市 市長
新原 芳明 様



広島県 坂町 町長
吉田 隆行 様



広島県 北広島町 町長
箕野 博司 様



山口県 萩市 市長
藤道 健二 様



山口県 田布施町 町長
東 浩二 様



山口県 長門市 市長
江原 達也 様



山口県 周防大島町 町長
椎木 巧 様

◆四国ブロック



徳島県 阿南市 市長
表原 立磨 様



徳島県 徳島市 市長
遠藤 彰良 様



徳島県 牟岐町 町長
枅富 治 様



徳島県 東みよし町 町長
松浦 敬治 様



徳島県 美波町 町長
影治 信良 様



徳島県 海陽町 町長
三浦 茂貴 様



香川県 さぬき市 市長
大山 茂樹 様



香川県 小豆島町 町長
松本 篤 様



香川県 綾川町 町長
前田 武俊 様



香川県 三豊市 市長
山下 昭史 様



香川県 三木町 町長
伊藤 良春 様



愛媛県 今治市 市長
菅 良二 様



愛媛県 久万高原町 町長
河野 忠康 様



愛媛県 鬼北町 町長
兵頭 誠亀 様



愛媛県 西条市 市長
玉井 敏久 様



愛媛県 愛南町 町長
清水 雅文 様



高知県 東洋町 町長
松延 宏幸 様



高知県 津野町 町長
池田 三男 様



高知県 四万十町 町長
中尾 博憲 様

◆北九州ブロック



福岡県 みやま市 市長
松嶋 盛人 様



福岡県 宮若市 市長
有吉 哲信 様



福岡県 みやこ町 町長
井上 幸春 様



福岡県 太任町 町長
永原 譲二 様



福岡県 飯塚市 市長
片峯 誠 様



福岡県 川崎町 町長
原口 正弘 様



福岡県 福智町 町長
黒土 孝司 様



福岡県 築上町 町長
新川 久三 様



佐賀県 太良町 町長
永淵 孝幸 様



佐賀県 神埼市 市長
松本 茂幸 様



佐賀県 みやき町 町長
末安 伸之 様



長崎県 南島原市 市長
松本 政博 様



長崎県 平戸市 市長
黒田 成彦 様



長崎県 杵岐市 市長
白川 博一 様



長崎県 時津町 町長
吉田 義徳 様



大分県 杵築市 市長
永松 悟 様



大分県 宇佐市 市長
是永 修治 様



大分県 中津市 市長
奥塚 正典 様



大分県 国東市 市長
三河 明史 様



大分県 佐伯市 市長
田中 利明 様



大分県 竹田市 市長
首藤 勝次 様



大分県 豊後高田市 市長
佐々木 敏夫 様



大分県 由布市 市長
相馬 尊重 様

第12回 「B&G全国サミット」 参加者感想

◆南九州ブロック



熊本県 長洲町 町長
中逸 博光 様



熊本県 津奈木町 町長
山田 豊隆 様



熊本県 湯前町 町長
長谷 和人 様



熊本県 美里町 町長
上田 泰弘 様



熊本県 熊本市 市長
大西 一史 様



熊本県 玉名市 市長
藏原 隆浩 様



熊本県 南関町 町長
佐藤 安彦 様



熊本県 南阿蘇村 村長
吉良 清一 様



熊本県 宇城市 市長
守田 憲史 様



熊本県 菊池市 市長
江頭 実 様



宮崎県 日南市 市長
崎田 恭平 様



宮崎県 宮崎市 市長
戸敷 正 様



鹿児島県 いちき串木野市 市長
田畑 誠一 様



鹿児島県 長島町 町長
川添 健 様



鹿児島県 阿久根市 市長
西平 良将 様



鹿児島県 さつま町 町長
日高 政勝 様



鹿児島県 湧水町 町長
池上 滝一 様



鹿児島県 南九州市 市長
塗木 弘幸 様



鹿児島県 日置市 市長
宮路 高光 様



鹿児島県 天城町 町長
森田 弘光 様



鹿児島県 南大隅町 町長
森田 俊彦 様



鹿児島県 南さつま市 市長
本坊 輝雄 様



鹿児島県 与論町 町長
山 元宗 様



鹿児島県 奄美市 市長
朝山 毅 様



沖縄県 伊江村 村長
島袋 秀幸 様



沖縄県 本部町 町長
平良 武康 様

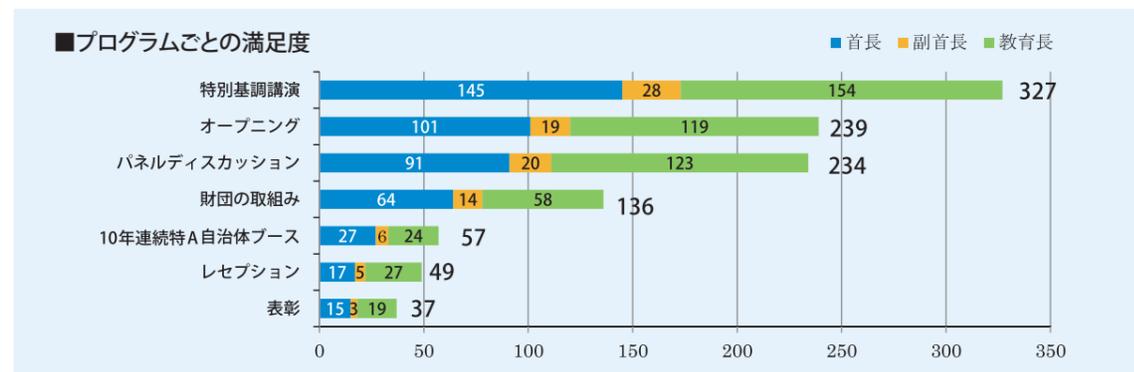
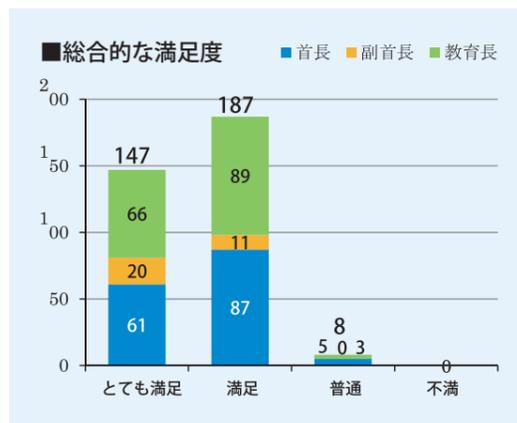
参加者アンケート集計

会議への高い満足度

会議終了後に徴収したアンケート調査によると、今回のサミットの総合的な満足度として、回答者342名中334名(98%)が「とても満足」(147名)もしくは「満足」(187名)と答えました。

プログラムごとの満足度では、今回も大多数の参加者が日本財団笹川陽平会長による特別基調講演『世界から見た日本』が「特によかった」と答えました。

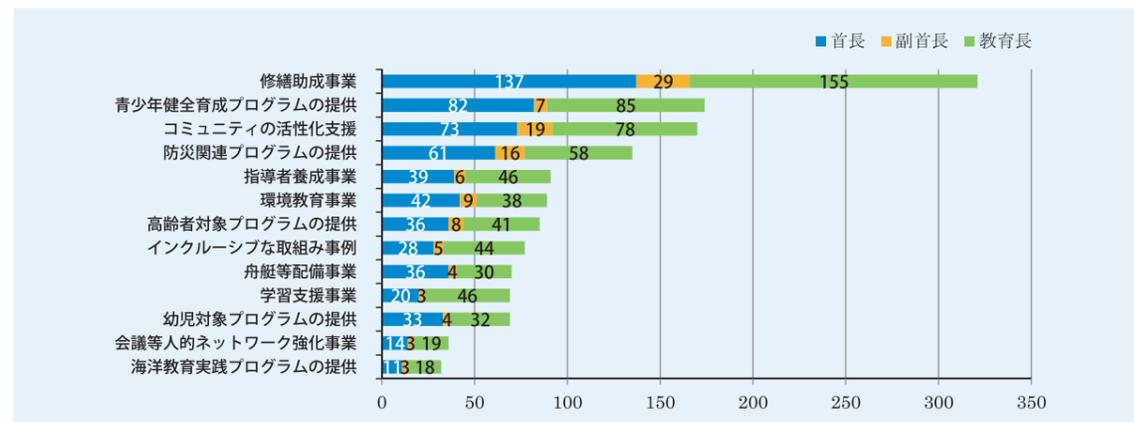
また、吹奏楽部の演奏によるオープニング、次いで3市町村のパネルディスカッションについても大変有意義であったと記述する参加者が多くありました。復興を願う若者の力強さは参加者に勇気を与え、各自治体の「環境・防災・コミュニティ」の3つのテーマごとの発表に、取組みを参考にしたいと回答が多く、意欲の高さが伺えました。



B&G財団への要望

— 修繕助成事業への強い要望 —

「修繕助成事業」については、継続的に高い要望が挙げられ、老朽化した施設を維持するために必要不可欠な事業であることが明確となりました。また、青少年の教育に対するプログラムの充実、近年積極的に推進している「コミュニティ活性化支援事業」についても要望が高いことが確認でき、従来のスポーツ施設としての活用だけでなく、地域の人が集える施設としての活用に関心が高くなっていると考えられます。今後さらなる事業の充実を図るため、皆様のご意見を真摯に受け止め、取組んで参ります。



第12回「B&G全国サミット」を終えて 正副会長の感想

「B&G全国サミット」会長



岐阜県中津川市 市長
青山 節児 様

第12回「B&G全国サミット」が全国各地の首長やB&G関係者の皆様のご出席のもと、盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。

第12回目の開催となった今回のサミットは、373市町村から過去最多となる848人の自治体関係者等が出席されました。これはB&G財団の皆様の日頃からの活躍の賜であり、合わせてB&G所在自治体の繋がりの強さであると感じました。

今サミットの共同宣言は、「地域力を活かしたまちづくり」を掲げ、「様々な地域資源を有効活用し、魅力あるまちづくりを推進するとともに、地域住民の知識・連携を深め、不測の自然災害等に備える。」という趣旨で採択されました。近年、異常気象と呼ばれる自然災害が全国各地で発生し、甚大な被害をもたらしておりますが、海洋センターが所在する我々自治体にはできることは、環境・防災・コミュニティの面から海洋センターのネットワークを最大限に活用し、地域同士・人同士が支え合う架け橋になることだと強く実感したところで。

また、本市海洋センターもB&G財団の支援のもと、スポーツのみならず幅広い世代のコミュニティ拠点としての機能を果たしております。今後も共同宣言の推進に加え、B&G財団及び全国の皆様との連携を深め、未来を支える世代の育成に努めてまいります。

結びに、本サミットの関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本年開催される東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に財団はじめ各海洋センターの益々のご発展を祈念申し上げます。

「B&G全国サミット」副会長



大分県佐伯市 市長
田中 利明 様

第12回「B&G全国サミット」が全国各地から多くの首長、教育長の皆様方ご参集のもと、盛大に開催されましたことをお慶び申し上げます。

今回のサミットでは、日本財団笹川会長による特別基調講演や3首長によるパネルディスカッション、財団の取組事例の発表など、積極的な情報交換が行われ、大変熱気ある大会となりました。

笹川会長の講演では、我慢強く未来志向の日本人は世界から尊敬されていること、日本人のDNAを次の世代に伝えていくことの必要性などを説かれ、本市においても、地元を愛する人材・日本を愛する人材の育成に励み、情熱を持って日本人のDNAを後世に受け継いでいきたいと思っております。

3首長によるパネルディスカッションでは、地域の魅力を子どもたちに伝えていくことや、楽しみながら防災の知識を学ぶこと、海洋センターを幅広い世代の人が集まる場とすることなどの重要性を学ぶことができました。

これらのことを市内6箇所の海洋センター活用策に生かしながら、地域住民との連携にも繋げていきたいと考えております。

今後も御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴財団の更なる発展を祈念申し上げます。

「B&G全国サミット」副会長



千葉県鋸南町 町長
白石 治和 様

今年も「B&G全国サミット」に非常に多くの自治体関係者が出席され盛大に開催できたことは、B&G財団と各自治体の強い結びつきの賜物であると改めて実感いたしました。

海洋センターはスポーツ振興の場だけではなく、地域住民のコミュニティの拠点へと変貌しつつあります。まだまだ多くの可能性を秘めた海洋センターをどのように活かしていくのが、多くの海洋センターの課題ではないでしょうか。素晴らしい取り組みを実施している自治体の声を拝聴できたことは大変有意義であったことでしょうか。

また、当町では昨年の台風による災害を経験し、多くの地域住民が防災に対する知識や備えの大事さに気づかされました。対応する職員も初めての事ばかりで、いち早くB&G財団の職員の皆様がボランティアに駆けつけてくださり、避難所の設営や物資の搬入に力強いサポートと的確なアドバイスをいただけたことは、その後の活動に大いに役立させていただきました。本稿をお借りして改めてお礼申し上げます。

共同宣言に新たに謳われたように、「地域住民の知識・連携を深め、不測の自然災害等に備えられるまちづくり」を海洋センターを中心に取組んでまいりたいと思っておりますので、今後ご指導・ご支援のほどお願い申し上げます。

「B&G全国サミット」副会長

徳島県美波町 町長
影治 信良 様

今年も「地域力の向上に向けて～環境・防災・コミュニティ～」をテーマに、大勢の市町村長、教育長をはじめ、関係者の皆さんが出席され、第12回「B&G全国サミット」が盛大に開催されましたこと、心からお慶び申し上げます。

そして、栃木県立鳥山高等学校吹奏楽部の皆さんには復興に向けた力強いそして素晴らしい演奏でオープニングを飾っていただき、ありがとうございました。

毎年、笹川日本財団会長の講演を楽しみに参加させて頂いております。今回のご講演をお聴きしながら思い出した言葉が二つありました。一つは「感謝の反対は何?」、二つ目は「農山漁村はそこに住む人たちが誇りを失った時消滅する」という言葉。日本は世界的に見ても、素晴らしい自然、歴史と文化を有する稀有な国であります、それが日本人には“当たり前”であるが故にその事に気づかない現実があり、そしてそれが感謝もしなければ評価もしない状況に繋がります。

つまり、国を愛する、日本人であること、日本に住んでいることに誇りを持つという、当たり前のことが当たり前すぎて感じられない。という現実が、私たちに今の今そこにある危機でもあります。国民がもっとそのことに気づきこの状態を変えていくべきではないか、と笹川会長が警鐘をならされるのも、そのために子どもたちに日本の歴史をきちんと教える必要があるのではないか、との問いかけも最も至極だと思います。

未来志向の国づくりに向け、これからの日本の将来を担う子どもたちの健やかな成長のためにも、私たちもそれぞれの自治体でできることから取り組みたいと思います。時間の関係で講演が途中で終わってしまったのがとても残念でした。続きをぜひ伺いたいものです。

B&G財団の今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

「B&G全国サミット」副会長

北海道新篠津村 町長
石塚 隆 様

第12回B&G全国サミットが全国各地から多くの首長、教育長の皆様のご出席のもと、盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。

今回のサミットは、「地域力の向上に向けて～環境・防災・コミュニティ～」をテーマとし、3名の首長から事例発表がありました。海洋センターが果たす役割、地域コミュニティの拠点として、今後のまちづくりに大変参考になるものでした。

また、第12回B&G全国サミット共同宣言では、「地域力を活かしたまちづくり」が採択されました。近年、大規模な台風が次々と発生し、各地に大きな被害をもたらしています。「地域力の活用計画(2020～2022)」においては防災教育が位置付けられています。本村においても、地域住民と連携を深め、地域防災力の向上に努めて参ります。

本村では、昨年、海洋センターと併設した村営プールがオープンいたしました。体力づくり・健康づくりに、子どもから高齢者まで多くの村民に利用していただきました。今後も、海洋センターを拠点に「誰にでも親しまれ、気軽に集える」場所づくりを進めて参りたいと考えております。

終わりに、今後も引き続きB&G財団のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第12回「B&G全国サミット」参加首長感想(一部抜粋)

北海道 剣淵町 町長 早坂 純夫 様

笹川先生のご講演に感銘を受けました。日本の良いところ、日本人の素晴らしいところに気づかされました。今日、災害がたくさんある事により、より人々の心ある行動が日本の良さと考えます。これからも、海洋スポーツを通じて、健全な心を育みたいと思います。

北海道 室蘭市 市長 青山 剛 様

毎年、笹川会長のお話を拝聴し、勇気づけられます。言論の自由ではなく、発言が抑圧される傾向にある変な社会になりつつあると私も感じていました。最近のメディアは悲観論が多く、地方の現場で前例なき課題に悪戦苦闘している者が疲弊してしまいがちであることは共感いたします。優れている人に対し、社会がもっと寛容にあるべきと思います。一方、スポーツの部分では、若きアスリートの活躍が国民を勇気づけてくれます。そのためにも、体育施設の整備は不可欠です。競技によっては、規格の変更が、地方自治体にとって大きな負担となります。今後も設備、備品の補助を賜りますよう、よろしく申し上げます。

北海道 大空町 町長 山下 英二 様

最近のB&G財団の取り組みは非常に多岐に渡っていますね。我が町は施設整備をいただき30年以上となります。従来は、青少年の健全育成、スポーツの振興が中心だったかと思いますが、今日の社会的課題を正面から取り組んでいるような姿が伝わります。災害から身を守る活動、環境の保全、高齢者の健康、子どもの貧困、犯罪の抑制、立ち直り社会復帰の支援、生命の大切さを伝える活動、差別の廃止などなど、常に新しい課題に真剣です。頭の下がる思いです。今回のようなサミットで先進事例を学べること、まちづくりのヒントをいただけること大変嬉しく思います。参加するたび、海洋センターの活用の新たな展開を考えるようになりました。もっともっと地域の方々に愛される、使っていただける海洋センターとするよう努めたいと思います。

北海道 鷹栖町 町長 谷 寿男 様

先ずは、鷹栖町B&G海洋センタープール改修工事にご支援を賜り、感謝申し上げます。お蔭をもちまして、私がセンター育成士として当町に戻った翌年から活動しています「水泳少年団」を中心に子どもたちが元気よくプールを活用させていただいております。今サミットでは、日本財団笹川陽平会長の基調講演では、日本の文化、伝統は世界から尊敬されていることや、一方で日本人がそのことを自覚あるいは評価していない現代に警鐘を鳴らしていただいたと理解し、私も全く同感です。世界に翔く前に先ず自らのことを知る事が大切です。また、「一番現場で苦勞している皆さんの声を聴かせていただきたい」とおっしゃられる会長の声こそが私たちの教訓であり、「できない中でどうやって、やっていくのかを考え出すのが我々の仕事だ」という言葉に自戒の念と勇気をいただきました。ありがとうございました。

北海道 苫前町 町長 福士 敦朗 様

日本人として、自国に誇りと希望を持つこと、自治体運営者として、笹川会長のご講演を聞き、あらためて認識を強く持った次第です。素晴らしいご講演でありました。有難うございました。

北海道 斜里町 町長 馬場 隆 様

今年もまた、様々な学びができ感謝いたします。そのひとつは、笹川会長からの毎年いろいろ示唆をいただいておりますが、特に今回は、四季の変化ある自然の豊かさや美術品を家庭の中に取り込んでいることなどの日本の良さを、当たり前として感じ取れない日本人の生き方について考えさせられました。もっと日本の伝統と文化に誇りを持つことを、私の立場からも伝えていければと思います。また、少子化ゆえ自分の伝統と文化に誇りを持つことを、私の立場からも伝えていければと思います。みんなが子どもの誕生を祝い、大切にし、健やかな成長を見守られる町でありたいと思っています。もうひとつ、パネルディスカッションで発表された白馬村の下川村長からは、高校支援における現実の課題についてレセプションの中で意見交換ができました。斜里町も同様の課題を抱えているだけにとても参考になりました。

岩手県 一関市 市長 勝部 修 様

以前からB&G財団様には、施設設備や修繕にご支援を賜わり、感謝申し上げます。出席しなければ聴いたり見たりすることができない事例について知ることができ、有意義なサミットでした。

岩手県 花巻市 市長 上田 東一 様

笹川会長のブログはいつも読ませて頂いておりますが、日本及び世界の見方を直接伺うことができ大変勉強になりました。



正副会長による議事の進行



会場内の様子

岩手県 大船渡市 市長 戸田 公明 様

笹川会長の講演からは、毎回学ぶ点が数多くあり、毎回参加する事が楽しみであります。また、時々、産経新聞社説に会長の論点・主張が紹介されます。毎回拝読する毎に目からウロコの思いであります。この様に会長の視点、発想から多くの学ぶべき点がありますので、今後共、講演を実施いただきたく願います。パネルディスカッションでは、地方が直面する課題への取組事例が発表されましたが、とても参考になりました。3事例とも、とても素晴らしく、考えさせられました。

岩手県 洋野町 町長 水上 信宏 様

貴財団におかれましては、日頃より青少年の健全育成と、幼児から高齢者の心とからだの健康づくりを推進されておりますことに、深く感謝を申し上げます。全国サミットの特別基調講演を拝聴させていただきましたが、大変勉強になりますし、他自治体の活動状況や貴財団の取り組みについても興味深く、今後の本町のまちづくりに活かして参りたいと存じます。今後におきましても、誰もが海洋スポーツを楽しむことができる健康づくりや、自然体験活動の拠点として活用させていただきますので、引き続き修繕助成や舟艇器材配備の継続、各種プログラムの提供などについてご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

秋田県 にかほ市 市長 市川 雄次 様

笹川会長の言葉に「日本人としてのアイデンティティをきちんと教育すべき」とありました。秋田にある国際教養大学の鈴木学長の言葉にもリベラルアーツを追究するうえで、グローバル、インターナショナルな活動において、先ず相手から尋ねられるのは「Who are you?」であると言われてきました。「あなたは誰?」つまり「あなたはという人はどんな人なの?」という問いかけです。日本人としてのアイデンティティをきちんと確立してこそはじめて国際社会の中で認められるということ強く考えさせられました。今回の笹川会長のお話はまさしく異口同音であり、あらためて自己の確立をすることの大切さを痛感しました。

秋田県 潟上市 市長 藤原 一成 様

このサミットも12回と回を重ねてこられた財団の御苦労に敬意を表します。毎年、笹川会長の広い識見からのお話を、特別基調講演という形で拝聴できることは楽しみにしております。貴財団が果たされている御貢献、御功績を私ども自治体とも力として一層の地域づくりに邁進してまいりたいです。

福島県 塙町 町長 宮田 秀利 様

今回のB&G全国サミット出席で、3度目の参加となりました。会場の中の凛とした雰囲気は変わる事なく、特に地方自治体から派遣された職員(研修員)のきびきびとした動きは、財団の基本姿勢を感じることができました。機会が有ったら当町からも、ぜひお願いしたいとも考えています。当町ではぜひご検討していただきたい事が有ります。それは財団の進める事業の中の子供達のための「第三の居場所」と老人施設(シェアハウスのなもの)を併設し、子供達への食事等の担当をお願い(入所高齢者へ)し、当然高齢者と子供達が共同作業等も考えられますが、子供達も高齢者から学ぶものもあるだろうし、高齢者も子供と接する事で、身のリハビリも期待出来るのではと考えています。数多くの問題も有るかとは思いますが、ぜひ取り組みを進めてみたいと思っております。財団での検討をお願いします。

千葉県 いすみ市 市長 太田 洋 様

毎年参加しています。すべて企画が良く、満足のいく取り組みでとても満足しています。特に笹川会長の講話は楽しみです。今回も日本人の誇りと日本文化のすばらしさを知り自信が出ました。その中で、笹川会長の地方を思う心が地方に生きる私に響きました。人口減少、進む高齢化の中で、苦しんでいる地方に勇気を与えるお話でした。地方を担うものに、小さいことを心配しないで前を向いて、今を生きている人の幸せの実現に努力すべきと知り、「今日からやろう」という気持ちが高まりました。今日も貴重なお話に感謝します。ありがとうございました。

富山県 南砺市 市長 田中 幹夫 様

毎回、笹川会長のお話を楽しみに参加している。もちろんB&Gサミットもすばらしいが、会長の一言一言は私の心に残り、日本のすばらしさを再認識させられる。又、財団の皆様の地方を思う気持ちはいつもうれしく思っている。財団が広い意味で、地方創生のトップランナーだと思う。ありがとうございます。

福井県 若狭町 町長 森下 裕 様

力強いご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。青少年の健全育成と地域住民のコミュニティの活性化にむけて明るく元気で笑顔いっぱい取り組みます。私の町づくりは「交流」「連携」「つなぐ」を目指して活力のある町を目指します。B&G財団のご指導に加えて、益々世界に向けた発信を期待致しております。ありがとうございました。

長野県 生坂村 村長 藤澤 泰彦 様

今年も全体的に良い内容で勉強になりました。笹川会長様の「世界から見た日本」のご講演から、もっと日本の伝統文化に自信と誇りを持たなければならないと思いました。小さな自治体でも、多くの宝(子ども、偉人等)を守り育んでいきたいと考えます。今後もB&G財団の取り組みを活用し、当村のB&G施設の利用促進に取り組んでいきたいと考えます。

長野県 可児市 市長 富田 成輝 様

日頃からのご支援まことにありがとうございます。毎年、笹川会長の特別基調講演は大変示唆に富み、今回も大きな感銘をいただきました。もう少し続きを聞かせていただきたく思いました。その他、パネルディスカッションなど、年1回、貴重な情報共有の場となるサミット開催を今後ともお願いし、協力させていただきます。

岐阜県 富加町 町長 板津 徳次 様

会長の笹川陽平様の特別講演についてはいつも聞き入ってしまう内容になっており、改めて日本の偉大さを感じた所でもあります。3市町村の事例発表については、色々工夫した取組がなされており、大変身になる発表でありました。今後ともスポーツに新しみが持てる教室の開催については海洋センターを活用していきたいと考えております。

静岡県 川根本町 町長 鈴木 敏夫 様

全国サミットには毎年参加させていただいております。毎年楽しみにしている笹川会長の講演も、「世界から見た日本」という講演で、非常に興味深く、楽しく拝聴いたしました。本日の研修でもお話がありましたが、これまでの町民の健康づくりの拠点機能に加え、本町の自然を生かしたトレイルランやサイクリング人口が増える中、アクティビティのステーション機能を整備し、町の基本構想に掲げる「カヌーのまちづくり」の具現化を目指し、今年度採択頂きました、活動機材追加・再配備事業で整備いただいたSUPを有効活用し、オリンピックイヤーとなります2020年を機に、パドルスポーツの楽しさを町内外に広く知ってもらい、アクティビティを通じた交流と地域の活性化を図っていききたいと思っております。

三重県 熊野市 市長 河上 敢二 様

パネルディスカッションは常務理事の質問に答える形で進行され、ポイントがしぼられ、パネリストの説明もわかりやすくなり、良かった。参考になった。今後も意見発表にかえて、こういう方法で実施してもらいたいと思っております。

三重県 菟野町 町長 柴田 孝之 様

いつも大変お世話になっております。私は小学2年生のとき、始めて新幹線に乗り、東京に伺い、船の科学館を見学し、海洋会館に宿泊させていただきました。これは日本財団様のおかげでございます。また、当町には私が中学生のころ、海洋センターが作られ、少額の料金で夏は夜もプールで泳ぎ、スポーツができるようになりました。陸上競技の練習も海洋センター前の陸上トラックで行いました。このように私自身も育てて頂いたB&G財団様のご厚意により建設した施設で、今、私の息子はカヌーの練習をさせて頂いております。当町の子供たちや町民の健全な身心育成にお力を頂きお礼を申し上げるとともに、今後もひき続き、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

滋賀県 多賀町 町長 久保 久良 様

B&G全国サミットに参加し、各自治体における活動事例やB&G財団のお話を聞くことができ、大変勉強になりました。当町の海洋センターとB&G財団の事業を活用し、地域の活性化を図ってまいります。

岡山県 鏡野町 町長 山崎 親男 様

多くの災害が各地で起きています。これに負けなたくまい世代を私たちは育てていかなければならない。あらゆる課題に素直な姿勢で向き合い答えを出していきます。尚一層宜しく御願致します。

岡山県 新見市 市長 池田 一二三 様

子ども達の自然体験活動につなげてまいりたいと思っております。いろいろと活用の参考になる発表ありがとうございます。

岡山県 赤磐市 市長 友實 武則 様

笹川陽平氏の特別基調講演「世界から見た日本」を聴いて、先人が造り上げた日本人の素晴らしさに驚きとともに、感銘を受けました。参考になりました。

島根県 西ノ島町 町長 升谷 健 様

全国のB&G海洋センターを有し、地域の教育・交流の場として活動されている仲間が集結しました。同じ想いをもつ仲間との交流の場となりました。

広島県 呉市 市長 新原 芳明 様

天城町の艇庫に多目的ホールを設けられたことに感銘を受けました。地域コミュニティの形成に大きく役立てられています。参考にいたします。防災拠点への備蓄と自治体との協定、空き家を活用した事業にも興味があります。

広島県 東広島市 市長 高垣 廣徳 様

昨年は本市の安芸津B & G海洋センター体育館の大規模修繕に御支援を頂きありがとうございました。「スポーツで地域を創るまち東広島」をスローガンに、子供から高齢者まで生涯を通じてスポーツに親しむ環境を整備し、地域の活性化を図っている本市にとって、リニューアルされた体育館は地域の活力を生む拠点になります。今後共御支援よろしくお願ひします。

徳島県 徳島市 市長 遠藤 彰良 様

オープニングの吹奏楽の演奏が素晴らしかったし、笹川会長の「世界から見た日本」の講演から、たくさんのヒントを頂きました。

最初から最後まで、とても充実したプログラムを実施していただきありがとうございました。

徳島県 海陽町 町長 三浦 茂貴 様

笹川会長様の特別基調講演を拝聴し、改めて財団様と海陽町はさらに密接に連携し、住民の満足度が向上する街づくりを進めなければならないと思いました。

海陽町は東京オリンピック、パラリンピックで正式種目となるサーフィンを町の活性のコンテンツとして太平洋を望む高台にあるプールをその核としてマリンスポーツの振興を重点的な施策として取り組んでいるところです。

このためにも第6回全国B&Gサミットで副会長を務められた当町の五軒家町長の築かれたものにさらに上積みできるよう、尽力してまいりたいと思いますのでB & G財団様の今後とも変わらぬご支援をよろしくお願ひ致します。

愛媛県 愛南町 町長 清水 雅文 様

今季の冬の温暖化は、かつて経験しない異常なことだと思います。この様な現象は今年だけに留まらず今後益々多くなっていくものと思います。

少子化が急激に進んでいく中で未来ある子供達には素晴らしい環境の学び舎を提供してやりたいと思っておりますので、体育館やプールの充実にご支援・ご協力をお願ひ致します。

愛媛県 久万高原町 町長 河野 忠康 様

笹川会長のお話に感銘を受けました。質実剛健の日本人の気質が失われつつある様私も思います。

人に迷惑をかけない、困っている人に援助の手を差し伸べる、そんな美しい日本人の心を取り戻さなければと危機感を持っています。

アメリカファーストのトランプ大統領の表現にとても違和感を感じており、私達はマイファーストではなく、othersファーストの精神で人口減少社会の中にありますが持続可能な街づくりに努力してまいります。子供の数もずいぶん少なくなっていますが、未来を託す子らにB & G海洋センターで身心共に健全に成長して頂ける様努めて参ります。

愛媛県 今治市 市長 菅 良二 様

我が今治市は12の市町村が対等合併して15年が経過しました。残念ながら人口減少が続いています。しかし青い海、緑の大地、即ちB & Gは健在です。この事を今後共大切にしたいと願っています。それが青少年の健全育成につながる。それを念じこれからもB & G財団につなぐ活動をしっかり取り組んでまいります。御指導よろしくお願ひします。

福岡県 築上町 町長 新川 久三 様

笹川会長の話を少しでも実行したい。人口減は当たり前、減ることは気にしない。縮充の施策を求めて行きたい。

漫画の話があったが、我町天保時代の圧政にあえいでいた領民を救った時の筋奉行延塚卯右衛門の話を描き子々孫々に引き継ぎたいと思った。

福岡県 福智町 町長 黒土 孝司 様

毎回の事ながら、笹川会長からの話、提言に感心を覚える。

自治体の長として、問題をかかえる子どもの教育、高齢者の福祉、その問題に考えすぎる自分がいる。何ができるかでなく、何をすべきかが大切である。町がかかえる諸問題に対し、どう向き合っていくかを探し求める人生にこれからの命をかけていきたいと思っている。その勇気を笹川会長からいただいたと思っています。

福岡県 みやま市 市長 松嶋 盛人 様

福岡県大野市の発表の防災の取り組みで、女性消防団を結成され活動してあることが印象的でした。活動も多岐にわたり、素晴らしいと感じました。本市でも、「安全・安心のまちづくり」をモットーとして取り組んでおります。人口は、37,500名程度の市ですが、消防団は21分団、712名で活動しています。この人数は近隣市と比較してもとても協力者が多いと思います。隣の市の人口は11万人程ですが、消防団員は、同じく700名ほどと伺っています。

本市でも、女性団員も組織したいと考えてはいますがまだできておりません。男性団員ばかりです。ただ女性消防クラブの方々60名程おられますが、炊き出し等、女性ならではの活動が中心となります。また、高齢化も進み、若い方が会員になって来られる方が居られません。

今後、女性消防団等を組織化し、自助、共助、公助が機能するようにしないといけないと思います。特に、避難所での対応を組織的に活動できるよう考え取り組んでいけたらと思いました。素晴らしい発表、ありがとうございました。

大分県 中津市 市長 奥塚 正典 様

今年もB & G全国サミットの開催ありがとうございます。各地域の活性化の取組みにB&G海洋センターが大きな役割を果たしている事例の発表はおおいに参考になりました。

中津市は、すばらしい自然の中にB & G耶馬溪海洋センターが体育館とプールを備えております。耶馬溪ダムと隣接し、市が営むアクアパーク（ダム湖活用した水上スキーや水上スポーツ公園）と連携した親水空間として、ますます魅力が増しています。

より市民が楽しみ、また外から山と水を求めてやってくる人々に対し、B & Gの施設の改修等が必要になってくることに際しましては親水空間の備品等の充実を含めご支援をよろしくお願ひいたします。

環境教育と防災の重要性は今後ますます高まります。子どもから大人までの啓発に力を入れていただきたいと考えます。

熊本県 菊池市 市長 江頭 実様

サミットは、全国の首長さんと悩みやアイデアを交換する場としてたいへん役に立っています。

技術進歩に伴い、eスポーツなど、身体活動から感動を得る体験が薄まるのではないかと懸念しています。こうした青少年の心の育成にも、引き続きご支援をお願ひ申し上げます。

熊本県 長洲町 町長 中逸 博光 様

笹川会長の講演で“日本人としてのDNAを持ち、堂々と行動しなさい”という言葉に勇気をもらいました。行政を執り行うにあたり、しっかりとした信念と勇気をもらった気がします。

パネルディスカッションでの地域力を活かした取り組みについて勉強になるとともに、取り入れていきたい事業もあった。

熊本県 南阿蘇村 村長 吉良 清一 様

熊本地震では大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。少しずつですが元気を取り戻しております。今後とも御指導よろしくお願ひ申し上げます本日はありがとうございました。

宮崎県 宮崎市 市長 戸数 正様

毎年参加させていただき、講演及び事業内容をお聞きし、感動し事業推進へ尽力すべきと考えております。そして、

その成果は年々拡充しております。厚く感謝申し上げます。

鹿児島県 いちき串木野市 市長 田畑 誠一 様

第12回「B & G全国サミット」の御盛会をお喜び申し上げます。

首長249名、副首長42名、教育長205名、計496名その他関係者を含め、総勢771名参加の全国大会は、他に全く例が無く、実に壯観の一語に尽きます。この姿は、永年、幾星霜に亘り、B & G財団が国家の将来を憂いて、とりわけ未来の日本を背負う青少年の健全育成に多額の浄財を投資し、全国の市町村を牽引してこられた珠玉と輝く実績に対する崇拜の年の証左であり、混迷が続くわが国の未来に期待する思いからであります。

大会次第はすべてよく、中でもパネルディスカッション「地域を活かしたまちづくり」は、とても勉強になりました。下川正剛村長さんの環境の対する白馬村の取組み、森田弘光町長さんの地域コミュニティづくりに対する天城町の取組みは、いずれも時宜を得た今日の地域課題であります。

地球温暖化が年毎に進行している今日、もはや想定外という言葉は言えません。大規模な自然災害の脅威にさらされ、毎年、多くの犠牲者を出している状況の中、女性の皆さんの感性に富んだ優しさ・明るさ・忍耐力と細やかさは、大災害における最前線のケアに最も早く、しかも適格に求められます。

大野市の石山志保市長さんの女性消防団100名「結の故郷女性分団」に新鮮で深い感銘を受けました。見習っていききたいと思います。

鹿児島県 さつま町 町長 日高 政勝 様

日本財団会長 笹川陽平様の特別基調講演、毎年関心高く拝聴致しています。

日本人のDNAの素晴らしさに気付き、自信と誇りを持ち、後世に伝えていく役割の大きさを改めて痛感いたしました。日本人そして日本での生活、文化、伝統をしっかりと守っていきたい。

鹿児島県 阿久根市 市長 西平 良将 様

笹川会長の世界を知る立場からお話頂いた内容は、非常に興味深いものでありました。中でも、日本民族として誇りをもって世界に情報発信していく事は、国民一人一人が高く意識を持って臨んでいかないといけないことだと再認識させていただきました。

今後ともご指導の程、よろしくお願ひ致します。

第12回「B&G全国サミット」 参加副首長感想（一部抜粋）

北海道 愛別町 副町長 石田光幸様

たいへん充実したプログラムだと感じました。中でも、日本財団会長笹川様の特別基調講演は勿論、全国各地で海洋センターを拠点として活動されている、子どもからお年寄りまで幅広い人材育成の取り組みをはじめ、環境・防災・コミュニティを中心に、今サミットのテーマとして掲げられました、地域力の向上は、現代社会において、最も重要な推進目標であると思います。

栃木県 鹿沼市 副市長 福田義一様

笹川会長のご講演、パネルディスカッション、有意義でたいへん勉強になりました。本市も昨年の台風19号で大きな被害を受けました。その際にいただいたご支援に心から感謝申し上げます。また、災害時にはセンターをボランティアの拠点施設のひとつとしても活用させていただきました。

山梨県 山梨市 副市長 古屋博敏様

初めて出席させていただきました。これを機会に、当市の牧丘B&G海洋センターの運営について改めて注視し、現場職員を励ましていきたいと思っております。

富山県 富山市 副市長 今本雅祥様

鳥山高校の演奏は心に響いた。復興に向けた決意が伝わった。まさに各部員の心身が一体となった演奏に感動した。世界の八大文明の一つが日本文明との主張には全く共感する。日本の偉人の話を若い世代に引き継いで行くことに大賛成です。日本の資源は人であるに共感する。

兵庫県 新温泉町 副町長 田中孝幸様

人口減少に苦しむ地方の町にとって、何より大切なのは、人材の育成、子どもたちの笑顔、健全な育成であります。本日の笹川会長様の子どもへの熱い思い（地域での子育てという日本の伝統）を今一度思い出し、地域全体で自分達のものとして取り組んでまいります。有難うございました。

福岡県 柳川市 副市長 酒見勇次様

今回もとても有意義な会議に参加させていただき、感謝いたします。今年の共同宣言「地域力を活かしたまちづくり」は時機を得たテーマだと感じました。住民の協力なくしては、行政を運営できない時代であることを日々感じておりますので、ご紹介いただいた先進的な取り組みを大いに参考にさせていただきたいと思っております。

鹿児島県 鹿屋市 副市長 原口学様

笹川陽平会長の講演は、グローバルな視点と長期的な視点に立って、日本と日本人のあり様について示唆に富んだ内容であり、過疎化が進む地方の自治体にとっては勇気づけられるとともに、改めて厳しい情勢に立ち向かい、地域力を高め、未来を担う人材育成に取り組む必要性を再認識したところである。

現在、本市においては、B&G財団の体育館やプールと地域資源を融合させながら、子どもたちの交流や地域に愛着を持つまちづくりを進めている。

B&G財団の取組は、地域力の向上や子どもたちの人材育成について、自治体にとって大きな力となっている。今後も引き続きご支援ご協力をお願いするものである。

鹿児島県 薩摩川内市 副市長 知識博美様

特に、日本財団笹川会長様の基調講演は、楽しみにしていた講演であり、自治体が抱えている課題は、まさに、日本財団も解決すべき課題であるので、自治体の課題解決に対する協力は惜しまない。日本の地域には、数多くの文化・伝統・風習が残っており、各地域には、先人たちが作り上げてきた伝統や素晴らしい風習が残っている。外国からは羨望の眼差しで見られている、我々、日本人のDNAに自信を持ち、人口減少や少子高齢化等の地域の課題や困難に立ち向かっていきましょう。との言葉に大変感銘を受けたところでありました。

この他、パネルディスカッションやB&G財団の取り組み等につきましては、今後の本市の取組みに大いに参考となるものであり、本市といたしまして、今後の市政において「B&G全国サミット」共同宣言を着実に推進して参る所存であります。

沖縄県 久米島町 副町長 桃原秀雄様

パネルディスカッションでは、各自治体、少子高齢化と人口減少の中、今回の共同宣言でもある「地域力を活かしたまちづくり」に取り組んでいる事例等のお話が聞け、大変参考になりました。

今後もB&G活動を推進し、未来を担う子供達の育成へ尽力していきたいと思っておりますので、変わらぬご指導・ご支援を頂きますよう、お願い申し上げます。

第12回「B&G全国サミット」 参加教育長感想（一部抜粋）

北海道 岩見沢市 教育長 三角光二様

子どもの貧困問題から第3の居場所づくり、異世代間のつながりの必要性から始まり、言語形成から見た、日本とアジアの国々との関係。歴史から見た日本の独自性と内容が多岐にわたり大変勉強になりました。そのなかで、文化が生活の中に根づいているという日本の国民性に気づかされましたし、特に「先を読む」という視点では、現状をよく把握し、多様な理解とプラスの発想や展望を持つことが次世代を創る原動力になると感じました。

そのためにも、子どもたちがアイデンティティを将来において確立できるよう、ふるさとへの愛着を抱く教育の重要性を実感しており、また、日本の資源は人であり教育が人をつくり、国をつくるという展望を持って教育行政を展開していきたいと考えています。

北海道 新篠津村 教育長 荒谷順一郎様

全国の各自治体が地域づくりに熱心に取り組んでいることが強く感じられました。様々なアイデアを考えながら、B&G体育館を中心に地域づくりに努めてまいりたいと考えます。

加えて、B&G財団へ出向した職員の大きな成長を強く感じました。本村より来年度女性職員が4月より一年間お世話になります。よろしくお願い致します。

北海道 古平町 教育長 石川忠博様

全国の「地域力を活かしたまちづくり」や子どもたちに変化に適応する「生きる力」の育成の取り組みなど、B&G海洋センターを活用した様々な取組を学ぶことができました。

特に笹川会長様の特別講演の中で、先人の作り上げた文化や伝統を伝えていくことの大切さを気づかされるとともに、地域全体で子どもたちを育てていくことの必要性を再認識することができました。

古平町では、令和2年度からコミュニティ・スクールを導入していきますが、ふるさとの歴史や文化を学ぶ学習を充実する中で、地域人材の活用を進め、地域全体で子どもたちを育て体制づくりを進めていきたいと改めて考えさせられました。そして、子どもたちの体験活動を増やすためにB&Gの指導者の活用を進めていきたいと思っています。たくさん気づきがありました。ありがとうございます。

宮城県 川崎町 教育長 相原稔彦様

今回初めて参加しました。「誰もが集える」という言葉が強く心に残りました。B&Gの施設、人材、ノウハウを生かした町づくり・人づくりを、全国各地の取組を参考にし、知恵を出しながら進めていきたいと感じた1日でした。ありがとうございます。

秋田県 潟上市 教育長 工藤素子様

笹川会長の力強い示唆に富む御講話、それぞれの地域や自治体の特色を生かした取組をお聞きしたパネルディスカッション、財団の取組のポイントを絞られた御紹介も印象に残るものでした。11月の教育長会議、このサミットも、地域の課題も強みに見えていく発想の転換と視座の高さを学ぶ機会になりましたことを感謝いたします。

全体の構成がテーマに沿ってよく練られたメリハリのあるもので、短い時間でありながら多くの御教示を賜りました。加えて、座席近くの他県の教育長さんと名刺交換をさせていただくことで、全国に広く視野をもち、我がまちの未来を展望していく一日となりました。重ねて感謝いたします。今後とも御指導よろしくお願ひいたします。

秋田県 由利本荘市 教育長 佐々田亨三様

「日本の良さ、国土、先人の働き、DNA」をもっと評価し、位置付けなければならない、とのお話は教育を預り、子供に夢と希望を与え、将来の人材育成には必須と考える。

また、秋田県は早くから「ふるさと教育」を掲げて実践してきましたが、会長さんの講演の中で、新井白石や伊能忠敬、そしてアインシュタインの日本観などが紹介されましたが、改めて、本県における「ふるさと教育」の推進の大切さを確認することができました。

福島県 柳津町 教育長 神田順一様

初めて参加させてもらった。時間がもう少しあればと思う内容（特別基調講演、パネルディスカッション）もあったが、こういう全国的な集まりが12回を重ねていることに感心させていただいた。

座席が隣り合った他県の教育長さんと話できたのも貴重だった。パネルディスカッションで伺った外国人の移住、女性消防団員の採用・取組、艇庫の積極的など、参考にしたい内容が多かった。

栃木県 さくら市 教育長 橋本啓二様

オープニングの鳥山高校は隣接市であります。さくら市も台風19号では那須烏山市に及ばないものの大きな被害にありました。そんな中で、若い力が奏でる演奏は大変力強いものがありました。大変ありがとうございました。

笹川会長の講演会聴講は今回で3回目となります。毎回独自な視点で貴重な講演をいただき、今後のビジネス&ライフワークに参考となるものでした。今回は「世界から見た日本」というテーマで、豊富な海外経験、そしてグローバル視点からの話はとても興味深いものでした。ありがとうございました。

全国教育長会議報告では、参加した2日間の研修内容をあらためて再確認することができました。工藤校長の話、そして教育長会議提言などから、教育長という立場で今後取り組むべきことを考える契機となっております。

昨年の事例発表から、パネルディスカッションに変わりました。環境、防災、コミュニティという今注目を浴びているSDG'sに沿うような視点があり、充実したディスカッションになったと思います。また進行役の古山常務理事の問答が巧みでわかりやすかったと思います。

群馬県 みなかみ町 教育長 田村 義和 様

パネルディスカッションでは、どの地域でも課題を抱えているが、その課題を解決するために様々な工夫をされていることが分かった。みなかみ町は、町内に8つのスキー場がある観光や農業を主産業とする町なので、白馬村の外国人観光客に目をつけたプロモーションやグローバル化にかかるルールづくり、制度の見直しなど大変参考になった。そこにB&G海洋センターの施設をうまくからませていくことが大事なことも分かった。

新潟県 南魚沼市 教育長 岡村 秀康 様

特別基調講演の中で笹川会長様の「悲観論からの脱却を」という熱きメッセージ、強く心打たれました。パネルディスカッション、大変大きな視座をいただきました。3つの自治体が、海洋センターを多角的な視点から利活用し、こんな形の活用ができるのかと「目からうろこ」のディスカッションでした。当市での取組の参考にさせていただきます。

長野県 飯島町 教育長 澤井 淳 様

地方に住んでいると、笹川会長による基調講演のような、グローバルな視点からの日本や日本文化のよさに気付かないこともあります。年に一度ですが、お話を聞きできると、とてもよい刺激となりありがたい気落ちです。今後もこのような機会を得られれば幸いです。

長野県 松本市 教育長 赤羽 郁夫 様

松本市では、昨年度より市内小学校数校と「海洋教育」への取り組みをはじめました。海から遠い地にあっても、地球規模の環境の変化を、自然体験や環境への主体的な働きかけ、探究活動を通して学び、変化の激しいこれからの世を生き抜くたくましい力が育ってほしいと願っています。引き続き、ご助言・ご支援をよろしくお願いいたします。何とか「松本モデル」になるよう取り組んでまいります。

岐阜県 川辺町 教育長 長谷川 哲 様

自己肯定感（故郷肯定感、国肯定感）を育てていくことは多様性が一層広がり、グローバル化が推進される次代を生きる子どもたちにとって根となることからです。笹川会長の講演にはいつも元気を頂きます。「日本人のDNAに誇りを持って」「ピンチをチャンスに見方を持って」とのメッセージ受け取りました。我が町では肯定感を育てるべく「わたしがすき かぞくがすき なかまがすき そしてこのまちがすき」のスローガンを掲げて教育を推進しています。

三重県 志摩市 教育長 舟戸 宏一 様

少子高齢化、過疎化による人口減少といった課題がある中でマイナスばかりに目をやるのではなく、地元にある力をもう一度見直して活用することの意義を感じた。特にB&Gの施設や取組は、それだけで地域における大きな力であり、住民が集う場、子育てを交流する場、災害時の拠点としてなど多様な活用が考えられる。そして若い人の関心や力を集める拠点としても活用している例は大いに参考になった。学校、行政、自治会といったこれまでの連携の中にB&Gの施設を加え、より多様な取り組みが進められることを実感した。ありがとうございました。

兵庫県 養父市 教育長 足立 篤史 様

今回も充実した内容で、市政施行に大いに参考となるヒントをいただきました。インバウンドで来日される外国人の受入れや、交流の在り方、消防団員として女性の力を活用している例など、環境・防災・コミュニティが上手に関連し合っているパネルディスカッションが特によい企画であったと感じています。ありがとうございました。

高知県 津野町 教育長 久寿 久美子 様

オープニングでは、栃木県立烏山高等学校のすばらしい演奏で活気あふれる第12回B&G全国サミットが始まり、感動的な場面になり、よかった。さらに、笹川先生のご講演ではいかに、日本はすばらしい国なのか、再発見するとともに笹川先生の日本を語る視点に私自身深く心に「言葉一つ一つ」を返しながらかすことが出来ました。とてもいい講演でした。

福岡県 みやこ町 教育長 樹口 広二 様

パネルディスカッション「地域力を活かしたまちづくり」が、とても勉強になりました。B&Gの施設やさまざまな事業を通して、まちづくりを行い、地域力の向上を図っていることに感心しました。これらの活動が魅力あるまちづくりにつながり、人口増をもたらしている。我町も、人口の急激な減少により、地域の力が弱まってきているのが現実です。B&Gの様々な事業を活用しながら、生きがいのある町にしていきたいと思えます。

全国指導者会の総会の報告の中で、被災地ボランティア活動内容を知り感心しました。特に、熊本地震では、物資の配慮のある支援に学びました。そのときでも、B&Gの体育館や施設が役立っていることに、新たな活用のあり方を提起され、勉強になった。

熊本県 南関町 教育長 谷口 慶志郎 様

笹川陽平氏の「世界から見た日本」特別基調講演には、ICT等の情報化社会へ進展する中で、日本人のすばらしさ、良さについて考える良い機会になりました。特に、学校教育においては、ICT等の機器をいかに活用するのか＜流行＞という世の中の流れの中で、これまで日本の教育の中で大切にされてきた子どもと先生の信頼関係や子ども同士の仲間づくり、更には相手を思いやる心づくり…等々の＜不易＞の部分とのマッチングというか、今後このような顔と顔の見える関係づくりを大切にしていかなければならないと強く思いました。

第16回 「B&G 全国教育長会議」

2019.11.6(水)～7(木)

これからの時代の生きる力を育む
～より効果的な学びを提供するために～

第16回「B&G全国教育長会議」概要

これからの時代の生きる力を育む
～より効果的な学びを提供するために～

全国45道府県から、教育長ほか159名が出席！

2019年11月6日(水)、7日(木)の2日間にわたり、東京都港区の日本財団ビルにおいて第16回「B&G全国教育長会議」を開催しました。

当日は、B&G海洋センター所在地45道府県の市町村教育長126名を含む教育関係者等159名が出席し、「これからの時代の生きる力を育む～より効果的な学びを提供するために～」をテーマに、東京都千代田区立麴町中学校 校長の工藤 勇一氏による講演「学校教育を本質から問い直す」や東北大学 スマートエイジング学際重点研究センター 副センター長の瀧 靖之氏による講演「子どもたちの健やかな脳発達のために～アウトドア育脳のすすめ～」、先進的な取り組みを行っている自治体の教育長による事例発表などを実施。最終日には、B&Gプランを推進する提言を採択し、2日間の日程を終了しました。

第16回「B&G全国教育長会議」次第

日時：2019年11月6日(水) 14:00～17:00 ※交流会 17:20～18:20
7日(木) 9:00～11:45
場所：日本財団ビル2階大会議室・日本財団ビル8階レストラン(交流会)

【11月6日(水)】

1. 主催者挨拶
2. 来賓挨拶
3. 来賓紹介・出席者紹介
4. 講演I「学校教育を本質から問い直す」
東京都千代田区立麴町中学校 校長 工藤 勇一 様
5. 教育長事例発表
 - 海は最高の学びの場! B&G 指導員の活躍と出前講座の実施 島根県浜田市 教育長 石本 一夫 様
 - 地域と連携した「遊び」と「学び」の場の提供 広島県東広島市 教育長 津森 毅 様
 - 平成28年熊本地震の経験から「生きる力」を育む防災教育の取り組み
熊本県南阿蘇村 教育長 松野 孝雄 様
6. B&G 財団事業紹介
7. 交流会

【11月7日(木)】

8. 講演II「子どもたちの健やかな脳発達のために～アウトドア育脳のすすめ～」
東北大学 スマートエイジング学際重点研究センター 副センター長
加齢医学研究所 機能画像医学研究分野 教授 瀧 靖之 様
9. 文部科学省の取り組み
「生きる力」を育む教育の実現に向けて
文部科学省 初等中等教育局 教育課程課
主任学校教育官 大内 克紀 様
10. B&G 全国教育長会議「提言」

◎出席者内訳

大別	区分	名数
海洋センター関係	教育長	126名
	代理	2名
	随 行	31名
そ の 他	来 賓	9名
	報道関係	6名
合 計		174名



来賓代表として挨拶する日本財団専務理事の前田晃様



ユニークな研究事例を交えた講演に熱心に耳を傾ける教育長

正副会長挨拶

会議の冒頭、「B&G全国教育長会議」正副会長の紹介後、会長である佐々田教育長は、「新たに始まる学習指導要領では、予測困難な社会で自ら行動できる生きる力を育むことが重視されています。今回の会議を地元での参考にさせていただきたい」と挨拶されました。



(左) 副会長：広島県安芸高田市 永井初男 教育長
(中) 会 長：秋田県由利本荘市 佐々田亨三 教育長
(右) 副会長：北海道剣淵町 半田幸清 教育長



正副会長の力強い挨拶で会議が始まりました

主催者挨拶



B&G財団 理事長 菅原 悟志

本日は、「B&G全国教育長会議」にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

今回の会議では、全国から120名を超える教育長の皆様にお越しいただき、また、日頃から多大なるご支援をいただいております日本財団をはじめ、当財団の理事・評議員、そして関係者のご臨席を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。

今回の教育長会議は、「これからの生きる力を育む」をテーマとし、会議では、「学校教育を本質から問い直す」と題して、全国から注目を集めている千代田区立麹町中学校 工藤 勇一校長先生の講演、また各地の海洋センターで先進的な取り組みを行う各自治体の教育長からの事例発表、B&G財団の事業などを紹介させていただきます。

社会は今、大きな転換期にあり、絶えず変化し続けています。頭の良い人、力の強い人が残るのではなく、変化に柔軟に対応できる人が生き残っていく、これは歴史が証明しています。そのため、皆さんご存じのとおり、B&G財団でも海洋センターを従来のスポーツ振興の場から、子どもからお年寄り、子育て世代など幅広い方々が集える場へとシフトしているところです。

現在、学校などの教育現場では、いじめや不登校、また一方で、家庭では貧困問題、虐待など子供を取り巻く環境は、深刻さを増していることは、皆さんご存じのことだと思います。この問題の全てを、学校や家庭に任せるのではなく、地域や、社会が一体となって、子供たちを支えていく必要があります。その役割を担っているのが、沖縄の養成研修を終えたB&G指導員であり、その拠点となるのが、皆様の自治体にある海洋センターです。

子供たちや、若者が未来に希望を持ち、そして自らの夢に向かって歩いていける社会をつくる、これは私たち大人に与えられた使命です。各自治体が抱えている問題や課題に対して、最初から模範解答はございません。参考にするような教科書もどこにも存在いたしません。皆さんなりの答えを現場で見つける、または、今日のような会議で見つけていっていただきたいと思います。

先日の台風で大きな被害を受けた自治体からの教育長も、本日参加していただいております。この2日間だけは、どうか一時だけでも災害のことは忘れて、と言いながらも、なかなか忘れられるものではございませんが、穏やかな2日間を過ごしていただきたいと思っております。

終わりになりますがB&G財団への引き続きご協力、ご理解、そしてご支援をお願いするとともに、本日までにお集まりの皆様、そして皆様のご家族の健康とご多幸をお祈りしております。2日間どうぞ、よろしく申し上げます。

講演(要旨)

学校教育を本質から問い直す



東京都千代田区立麹町中学校校長 工藤 勇一様

山形県・東京都の公立中学校教員、東京都教育委員会等を経て、2014年から現職。数々の教育改革をおこなっているとして、各界から注目を集める。教育再生実行会議委員、経済産業省「未来の教室」とEdTech研究会委員などの公職を歴任している。

■全員を当事者に変えること

学校教育を本質から問い直すために、四つの話をこれからします。

最初に「学校から見える課題」です。麹町中学校の子供たちは普通の公立の子供よりもずっと傷ついています。なぜかという千代田区の小学生は、大半が私立中学を受験します。麹町中学校には合格していない子が入ってくるのです。その落ち込みようは普通ではありません。大人が嫌い、勉強が嫌い、挙げ句の果てに友達が目立ってばすぐ叩きたくなる、そういう子供たちが入ってきます。

生きる力を育成するためには学力が必要だと言うのは、本当なのでしょうが、成績を上げるのは簡単です。つまづいたところを繰り返させれば良いのです。たくさんやらせれば学力は絶対上がります。但し、つまづいたところを繰り返させるほど、子供は自立しなくなります。

二つ目は、手段が目的化しているということです。宿題は自立を失わせます。勉強時間を増やすこと、学習習慣をつけさせること自体が目的化してしまうのです。24時間しかない時間をどう使うのか考え、自分にあった学び方を見つけることが大事です。

三つ目は、本来の学校の目的です。学校の目的ってなんですか？子供が社会の中でより良く生きていけるようにするのが学校の役割ですよ。麹町中学校の教育目標を「自立・尊重・創造」としたのですが、本当に学校で教えずにやらないのは、世の中に出たときに自分が学んだことを再現できる力です。

四つ目は、僕がどうやって学校を変えたのかということですが、実はすごくシンプルです。全員を当事者に変えること、それから一番上位のものを実現するための手段をとること、手段が目的化してはいけないのです。

全員を当事者に変えるために決定権を与えました。そのとき例えば「運動会を楽しめない子がどうしたら楽しめるか考えてくれ。」のようなミッションを一つだけ与えます。でも決定権を与えるだけではかならず失敗します。昔の成功体験、どこかの成功体験、その手段を持ってくるからです。手段と目的がひっくり返らないように吟味出来るまでに、麹町中学では3年から4年かかりました。

■多様な子供たちに個々に合った教育を

これからは、学習者主体でなにをどう学ぶかという時代です。いま日本がやっているのは「すべての子供に多様な教育を与えようとしている画一的な教育」だと僕は思います。お金も時間もかかってしまうやり方なうえ、子供たちはますます受け身になります。

本当にやらなければいけないのは「多様な子供たち出来るだけ個々に合った教育を行う」ことです。「文部科学省が定めたから。」という時代は終わりです。現場が教育の本質を考えて、教育を変えていくという時代にしていかなければならないのです。

講演（要旨）

子どもたちの健やかな脳発達のために
～アウトドア育脳のすすめ～

東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター 副センター長
東北大学加齢医学研究所教授 瀧 靖之 様
医師 医学博士



東北大学加齢医学研究所及び東北メディカル・メガバンク機構で脳の MRI 画像を用いたデータベースを作成し、脳の発達や加齢のメカニズムを明らかにする研究者として活躍。読影や解析をした脳 MRI は、これまでに約 16 万人に上る。「脳の発達と加齢に関する脳画像研究」「睡眠と海馬の関係に関する研究」「肥満と脳萎縮の関係に関する研究」など多くの論文を発表している。

■アウトドア体験が知的好奇心を育てる

本日は、私たちの脳の発達にアウトドア体験が有用なのかということ、できるだけ分かりやすく説明したいと思います。

脳がどうやって発達するかというと、生まれてすぐは、感覚に関わる部分の発達が進みます。この時、大事なことは愛着形成です。もう少しすると母国語の習得が始まります。この時に良いと言われるのは、読み聞かせて、日本語の単語やイントネーションがどんどん入ってきます。更に成長すると、自分と他人、自分と外の世界、自者と他者、いろんなものに興味が出てきます。このころから知的好奇心をいかに伸ばすのが大事になります。

思春期の少し前には、前頭葉が発達し、face to face の関わりが重要となってきます。子供たちがいかに自己実現するのかには、学力が関わってきます。学力は、知的好奇心と非常に相関があります。なぜ、知的好奇心が高いと学力が高くなるのかというと、好きなことは覚えやすいからです。記憶に関わる海馬と、感情に関わる扁桃体という領域は密接に関わっているので、知的好奇心が高いというのは非常に重要です。

■知識と実践の繰り返しが大切

アウトドア体験は、その知的好奇心を養います。子供は、自然に興味を持ったら、蝶や昆虫など興味を持った対象を何度も何度も見て、調べて、経験します。ただ、自然体験すればいいというのではなく、図鑑などを使い、知識と実践の繰り返し、より知的好奇心を刺激すると考えられます。何も知らないで見るのと、ちょっと知ってから見るのでは大きな違いがあります。また、親が子供と共に自然を体験することで、親の好奇心レベルも上がり、親自身の脳の健康の維持と、将来に足る認知症のリスクを下げることも繋がります。

器として脳をしっかり育てていくためには、しっかりと寝る、しっかりと食べる、しっかりと身体を動かすことが重要になってきます。今、子供達の中でもスマートフォンやネットゲームなどが身近になってきています。やってはいけないというのではなく、「何か問題がありそう」ということを踏まえた上で、スマートフォンやネットゲームなどのメディアと付き合いましょう。できれば、子供がスマートフォンやネットゲームにはまる前に、アウトドアの楽しさにはまってもらいたいです。

アウトドアだけが素晴らしいという訳ではないのですが、客観的にみても好奇心を伸ばして、非認知能力も伸ばす、それから体力もつく、親子関係や友達関係など face to face の機会も増えますから、アウトドアは、脳発達に非常に効果があると考えられます。

教育長事例発表

海は最高の学び場！
B & G指導員の活躍と出前教室の実施

島根県浜田市 石本 一夫 教育長



■豊かな海を基盤に郷土を愛する「ふるさと郷育」を実践

浜田市は島根県西部の中核都市で、人口は約 5 万 3 千名ですが、目下最大の課題は人口減少問題です。この状況を改善させるため、市では平成 27 年より「ふるさと郷育」を推進し、豊かな海を活かした自然体験活動を充実させることに心を砕いています。浜田市には市の基幹産業である水産業、国際貿易港、5 か所の海水浴場、水産高校、海上保安部という海洋教育を進める基盤が揃っており、昭和 57 年に建設された海洋センターが海洋教育につながっていることは言うまでもありません。

浜田市の取り組みは、社会教育の場合、家庭環境などが原因で体験格差が生じるため、学校教育を中心としています。各学校に年間 15 ～ 20 万円助成し、水産高校でのカッター教室、養護学校でのカヌー教室、水辺の安全教室などの出前教室を実施しています。子供たちのみならず先生方対象の教室もあり、小学校での海の清掃、水産高校での缶詰の加工体験、コンテナ見学、イカ捌きなど産業の場として海を捉える教育なども行っています。

今後は海洋センターを西の拠点と捉え、東の拠点として建築中の『渚の交番』を軸に、更なる郷育を進めていきたい考えです。

地域と連携した「遊び」と「学び」の場の提供

広島県東広島市 津森 毅 教育長



■今後の利用促進にも役立つ地域連携的な取り組み紹介

東広島市には、黒瀬・安芸津という 2 か所の海洋センターがあります。従来の取り組みとして、4 月・5 月は広報誌を通してイベント参加者を募集。6 月以降は B & G 会長杯、水辺の安全教室、クリーンフェスティバル、技能検定、B & G チャレンジ賞をはじめ、海洋センター主催のバレーボール大会など様々な取り組みが行われています。

新規事業として始まった「B & G 塾」は、夏休み期間中、子供たちが海洋センターを多目的に利用することで好奇心や探究心を煽り、学校では経験できない体験活動を提供することが狙いです。

7 月・8 月の 2 か月間に 5 回ずつ実施されるこのプログラムは、近隣の児童館、生涯学習登録団体、広島大学および広島国際大学の学生、地域の指導者らと連携。水辺の活動やニュースポーツにとどまらず、夏休みの宿題、理科の実験や工作、調理、学生によるゲームや工作の体験などを通して、海洋センターが子供たちの居場所作り、地域の子育て支援に貢献しています。学習、運動、地域連携が揃った同企画は、定員を超えるほどの申込があり、今後も子供たちの健全な育成の一助にすると共に、利用促進に役立てていきたいです。

平成 28 年熊本地震の経験から 「生きる力」を育む防災教育の取り組み

熊本県南阿蘇村 **松野 孝雄** 教育長



■自分たちに出来ることは何か、防災教育の観点から考える

熊本地震で甚大な被害を受けた南阿蘇村は、4月14日夜そして16日未明に最大でマグニチュード7.3の揺れが観測されました。

特に被害が酷かったのは、崩落した阿蘇大橋のある立野や土砂崩れで寸断された国道57号の通る地域でした。村全体では700世帯の住居が全壊し、11,700名の人口が震災後は1,200名減少しました。

奇しくも村内三つの中学校が合併したばかりでしたが、学校が再開したのは21日後。生徒たちは震災現場を確認し、自分たちに出来ることは何か、何を準備しなくてはならないか、ということに班に分かれて発表し合いました。そして震災を経験したからこそ分かったこととして、避難所運営の難しさがあがりました。子供たちは、「ボランティアはしたものの、避難所の運営をしている役場の職員に何も協力できなかった、自分たちで出来ることはないか」と熊本大学の先生方といっしょに避難所運営ラーニングを実施。学校での避難訓練も想定外の事態を考慮した形式に変わってきています。

皆様からのご支援により、皆すこしずつ前向きになっています。近くに来ることがありましたら寄って頂き、立ち直った南阿蘇村を見ていただければと思っています。

文部科学省の取り組み

「生きる力」を育む教育の実現に向けて

文部科学省 初等中等教育局
教育課程課 主任学校教育官 **大内 克紀** 様



■ 2030年以降の社会の在り方を見据えた新学習指導要領

新学習指導要領は、社会構造の変化に伴い改訂されました。既に幼稚園では全面実施されており、小学校では令和2年度から、中学校では翌3年度、高校では4年度から実施されます。

今回の改訂では、職業意識の変化や少子高齢化の中で生き抜く力を身につける教育を目指し、具体的には、学習の基礎となる資質・能力、情報活用能力、言語能力、問題発見・解決能力を重視しています。

また、2030年以降の社会の在り方を見据えて、「主体的に学びに向かい、自ら知識を深めて人生を切り開く」「対話や議論を通じて多様な人々と協働」「試行錯誤しながら問題を発見・解決」することが可能な人材の育成を図り、その手段として、先端技術（ICT、教育ビッグデータ）を活用した教育を推進していきます。

しかし、その前提となる学校のICT環境は脆弱で地域間格差も大きいなど、早急な対応が必要です。そこで政府は2018～2022年度まで「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」を立て、世界最先端のICT環境の実現を目指すべくロードマップを提示し、新時代の教育に向かって動いています。

第16回「B&G全国教育長会議」の提言

「B&Gプランを推進する提言」

- 一. 自然体験活動を実践する「指導員の養成」と「B&G指導者会の設立」推進
- 一. 地域と学校との連携強化
- 一. 海洋性レクリエーション事業の推進
- 一. 親子・家族の絆の推進
- 一. 海洋センター・クラブの活用
- 一. 環境・防災・水辺の安全教育の推進
- 一. 全ての子供たちへの体験機会の提供
- 一. 誰もが参加できる海洋センター活動の推進
- 一. 海洋教育の積極的推進

第16回

一. 変化に適応する「生きる力」の育成

多様な体験活動を通じて、より効果的な学びを提供し、時代の変化に適応できる「生きる力」を育てよう。

2019年11月7日
海洋センター所在市町村教育長一同

今年で16回目を迎えた「B&G全国教育長会議」。出席者数は過去最高となり、自治体執行部の皆様のB&G財団に対する理解の高まりを感じることができました。

今回の会議では、「生きる力」を効果的に育てている先進事例を紹介すると共に、体験活動の効果を新たな視点で共有することで、新学習指導要領も追い風に「生きる力の拠点」としての海洋センター役割を促進していくことが確認されました。



参加者アンケート集計

【会議への高い満足度】

会議終了後に徴取したアンケート調査（回答者数：120名）において、2日間の会議内容についての総合的な満足度として、回答者120名中108名（90%）が「とても満足」もしくは「満足」と答えました。

プログラムごとの満足度では、94名（78%）が、千代田区立麴町中学校校長の工藤勇一氏による講演「学校教育を本質から問い直す」が「特に良かった」と回答。

また全体をとおして、「全国的にみて先進的な取り組み事例や自治体ごとの取り組みはとても刺激となった」「世界で活躍できる生徒の育成、そのためには自ら判断し、実行できることが大切だと感じた」など、センターや学校の運営を改めて考え直そうという感想が多く見受けられました。



【自治体における新たな取り組みへの促進】

講演や自治体での具体的な取り組みが紹介された事例発表等、様々な角度から「より効果的な学び」について考える機会となったこともあり、本会議を通じて参加者全員に、子供が時代の変化に適応した「生きる力」を獲得することの重要性を再確認いただきました。

また、「来年度から新たに取組みたいと思った事例・情報がある」と回答した方は80名（67%）と多く、更にそのうちのほぼ半数の38名（32%）が実際に「2020から取組む予定」と答え、今後、それぞれの自治体における事業内容の充実が期待されます。



第16回 「B&G 全国教育長会議」

参加者感想

第16回「B&G全国教育長会議」を終えて

「B&G全国教育長会議」会長

秋田県由利本荘市 教育長
佐々田 亨三様

毎年、大変ご指導いただき、心から感謝いたします。
防災・BG塾・修繕助成等の支援の素晴らしさに、教育が如何に支えられているかを改めて認識させていただきました。
新しい学習指導要領の改訂で言われている「生きる力」その実現のための野外生活体験を進化させるには、近隣の学校間の交流も大切かと思われまます。その学校が持っている素晴らしい実践が交流によって更に防災や海洋教育が深化すると思われまます。学校間の交流、B&G財団からの指導者派遣もお願いできればと思います。

「B&G全国教育長会議」副会長

北海道剣淵町 教育長
半田 幸清様

Society5.0の時代に向けた教育の在り方について、先端のフロンティアの実践について学ばせていただきました。これからの時代の生きる力を育むことをテーマにした熱い2日間であったと思います。
全国のB&G海洋センターが多様な地域を結び、ネットワーク型のソーシャルキャピタルを高めていくことが大切であると思ひます。

「B&G全国教育長会議」副会長

広島県安芸高田市 教育長
永井 初男様

今回の全国教育長会議も多くの学びがありました。まずはこのような機会を提供していただいたことに感謝申し上げます。特に2本の講演での多くの貴重な学びがこれから教育行政を担っていく上で、たくさんの示唆をいただきました。
財団からの事業報告等も、担当者の方から直接説明を聞けるということで、とても有意義でした。
少し気が早いのですが、来年度の「B&G全国教育長会議」を楽しみにしながら本市の事業推進に努力したいと思ひます。ありがとうございました。

第16回「B&G全国教育長会議」参加者感想(一部抜粋)

北海道 小平町 教育長 照井 廣章様

廻町中学校 工藤校長先生の講演に非常に興味があり、拝聴しましたが、期待していたとおりのお話で参加して本当によかったです。瀧先生の講演も大変興味深く、また分かりやすくとてもよかったです。

青森県 南部町 教育長 高橋 力也様

今、話題の廻町中学校の校長先生の講演を聴いて、とても参考になった。というのは、先月本町において中学生海外派遣でカナダの中学校を訪問した際、まさしく工藤校長が言われた一人ひとりを生かした学習を行っていたからです。日本の教育の良い点は残しつつも、やはり世界で活躍できる生徒の育成、そのためには自ら判断し、考え、実行できることが大切だと感じました。アウトドア活動が脳の発達に有用なこと、SNSが脳の発達にあまりよくないことが改めてよく分かり、とても良い講演でした。

岩手県 八幡平市 教育長 星 俊也様

「学校教育を本質から直す」という工藤校長の講演を伺い、日常の活動を根本から見直してみる必要性を痛感した。何を大切にしていかなければならないかパラタイムを転換していく時期なのかもしれないと感じている。自分の生活している地域の特性、児童生徒の実態、状況、そして将来の担い手として期待されること等を勘案し、本市にとって何が本当に大切なことなのか、じっくり考えてみたいと思った。本当に良い機会を与えてくださったことに感謝している。

宮城県 加美町 教育長 早坂 家一様

B&G財団の活動、助成に改めて感謝します。また、教育長事例発表で先進的な取組みを示していただき、大いに参考となりました。これから地方財政がますます厳しくなる折、今後ともご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。今回の会議で得た情報を、今後の教育行政に生かしたいと思ひます。スタッフの皆さん、ありがとうございました。

秋田県 潟上市 教育長 工藤 素子様

大変内容の充実した二日間で、スタッフの方々のご対応、進行の在り方等も素晴らしく、大変有意義な研修をさせていただきましたこと、心から感謝申し上げます。廻町中の工藤校長、東北大の瀧先生のご著書を拝読していたものの、やはり「百聞は一見に如かず」で、拝聴するという「直接体験」ができるというのが、やはり財団の皆さんの企画力であると改めて感服しました。今後もこうしたテーマに即し、かつ話題性のある方々の講話を継続していただければありがたく存じます。最後に繰り返しになりますが、財団の方々の進行の素晴らしさに学ぶところが大きいです。タイムキープが絶妙で、我が市や学校でも見習わせたいと思ひます。居心地よい二日間、ありがとうございました。

福島県 柳津町 神田 順一様

初めての出席で、戸惑うこともあったが、講演、情報交換など、参考になることが多かった。高齢化率が高い町なので、高齢者が生き生きと健康で活動できるような取組みを海洋センターの管理等を委託している赤べこトータルスポーツとともに充実させていきたいと改めて思った。

茨城県 かすみがうら市 教育長 大山 隆雄様

廻町中学校長の工藤先生の講演は、大変興味深く拝聴させていただきました。公立の学校にも関わらず、これからの教育現場に何が問われるかを示された大胆な発想に感銘いたしました。

栃木県 さくら市 教育長 橋本 啓二様

教育長就任以来、3度目の出席となりますが、多様な研修メニューと充実内容にとても満足しております。学校教育を見直す工藤先生のお話、B&G自治体からの実践発表、アウトドア育脳というユニークな研究実践等、とても興味深く聞かせていただきました。余談ではありますが、昨年の交流会で名刺をいただいた佐々田会長の由利本荘市と、学力向上について小中学校訪問交流をさせていただくことができました。この教育長会議のたまものと思っています。ありがとうございました。

埼玉県 神川町 教育長 福嶋 慶治様

講演Iはタイムリーな企画です。変化の激しい時代に学校がどうあるべきかを示してくれました。特に固定担任制をやめて、所属職員全員で一つの学年でみるというのは、素晴らしい試みだと思ひました。上位目的を常に優先するという考えは非常に大切だと思ひました。素晴らしい企画をありがとうございました。

千葉県 成田市 教育長 関川 義雄 様

初日の工藤校長先生のお話は、教育の本質を突きつめた自らの実践事例の紹介で先生の熱い思いが強く感じられ、自分自身の励みにもなりました。以前、先生の書かれた本を読んでおりましたが、実際にご本人の口から語られる言葉には強さがあり、信念すら感じました。私も17年前、初めて校長になった翌年、先生と同様の取組みを行いました。その学校には2年しか居られず、県行政、市行政へと異動したため、成果を検証できずにいました。そういう意味でとても共感するところが多く、この強い思いをぜひ本市においても実践できる学校を育てたいと思いました。

石川県 志賀町 教育長 間嶋 正剛 様

教育動向に対応した内容で良かった。また改めて財団事業についても情勢に対応した内容のものを実施していただき、ありがたく感謝いたします。

福井県 池田町 教育長 内藤 徳博 様

全国で多様な活動をされていることがよく分かりました。子どもたちと手をつなぐ体験をより一層進めていく重要性を感じました。

山梨県 中央市 教育長 田中 正清 様

廻町中学校での取組みは非常に参考になりました。地元の学校で取入れることのできることを少しでも取入れていきたいと感じた。リーダーとして最上位の目標設定の大切さは、その通りだと感じ、今後ともしっかりと取組んでいきたい。瀧先生のアウトドア体験と脳の発達との関連性は非常に分かりやすく、自然体験の大切さを再認識しました。

長野県 飯島町 教育長 澤井 淳 様

全国的にみて先進的な取組み事例や自治体ごとの取組みはとても刺激となり、自分の自治体の教育委員会の取組みに生かせないかじっくりと考える良い機会となっています。特に地方の教育委員会は新しい情報に接する機会が少ないので、今後もこのような機会を作っていただけると大変ありがたいです。

三重県 伊勢市 教育長 北村 陽 様

たくさんのご教示をいただきました。どれだけ具体化できるか分かりませんが、実現に向けて努力したいと思います。また、人的ネットワークも大切にしたいと思います。ありがとうございました。

和歌山県 新宮市 教育長 速水 盛康 様

工藤校長のアイデアに感心しました。私たちも考え方を考え変えチャレンジする精神とエネルギーをいただきました。各教育長様の事例発表が実践的で勉強になりました。各地方の地域力の素晴らしさに感心しました。

京都府 京丹波町 教育長 樹山 静雄 様

初参加でしたが、スタッフの皆様の親切、丁寧な対応に安心でき、良い研修機会であったと思います。この度の災害で被害を受けられた市町、地域の方々の一日も早い復旧を願います。

福岡県 築上町 教育長 久保 ひろみ 様

今回初めて出席させていただきました。工藤校長のお話で大変刺激を受けました。現状をしっかりと掴み、見直す必要性を感じました。以前より工藤校長のお話を聞きたいと思っておりましたので、ありがたかったです。自然体験は重要だと思い、様々な事業を展開しています。子育てが苦手な親や、関心の低い親を巻きこむ方策を考えなくてはと思っています。アウトドアが脳発達に良い影響を与えることを科学的な根拠を示しながら啓発することは効果的だと思いますので活用したいと思います。

鹿児島県 いちき串木野市 教育長 有村 孝 様

初めて出席しましたが、B&G財団の様々な事業や今日の教育課題について他自治体と情報共有でき大変有意義な会議でした。特にB&G財団事業が子どもの生活環境での課題である子どもたちの群れ遊びの減少や相対的貧困等を踏まえ、第三の居場所づくり事業等、海洋センターを中心に各自治体が現場で答えを出していきたい、その方向性の一端が見えた会議でした。ありがとうございました。

沖縄県 うるま市 教育長 嘉手苺 弘美 様

これから教育施策を計画するなかで、今日の会議での気づき、学びを職員、学校の教員、PTA 連合会と共有していきたい。またB&G施設の活用について再検討していきたい。

次回のご案内

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

第13回「B&G全国サミット」
第17回「B&G全国教育長会議」

B&G財団では、会議を通じて、市町村長様、教育長様とのネットワークを更に深め、連携・協力を密にし、地域住民の皆様の健康づくりに力を注いでまいります。

第13回「B&G全国サミット」

第17回「B&G全国教育長会議」

日時：2021年1月22日(金)

日時：2020年11月5日(木)・6日(金)

場所：笹川記念会館
東京都港区三田3-12-12

場所：日本財団ビル
東京都港区赤坂1-2-2

対象：地域海洋センター所在市町村の
市町村長様、教育長様

対象：ブロック連絡協議会幹事教育長様、
道府県連絡協議会が推薦する教育長様、
地域海洋センター所在市町村の教育長様



—皆様のご参加をお待ちしております—